

3.1.5 動植物の生息又は生育，植生及び生態系

3.1.5.1 植物

(1) 植生の状況

a. 自然環境保全基礎調査による植生の状況

「第3回自然環境保全基礎調査(植生調査) 現存植生図」(昭和60年～平成元年. 環境庁)による対象事業実施区域周辺の植生を図3.1.5-1(1)～(2)に示す。大部分が木本群落で，カラマツ植林の面積が多く，クリーミズナラ群落やアカマツ群落等が部分的にみられる。また，高標高帯には亜高山帯植生のシラビソ-オオシラビソ群集等が分布し，東側の台地には水田雑草群落や畑地雑草群落等の耕作地植生が分布している。

「第3回自然環境保全基礎調査 長野県自然環境情報図」(平成元年. 環境庁)による対象事業実施区域周辺の特定植物群落の位置を図3.1.5-2(1)～(2)に，「第5回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」(平成12年. 環境庁)による対象事業実施区域周辺の特定植物群落の状況を表3.1.5-1に示す。3件の特定植物群落が分布しており，いずれも原生林もしくはそれに近い自然林である。

「第4回自然環境保全基礎調査 都道府県別植生自然度図(平成元年～5年. 環境庁)」による対象事業実施区域周辺の植生自然度を図3.1.5-3(1)～(2)に示す。大部分の植生自然度は6～7であるが，特定植物群落の分布域では自然度が高く，植生自然度は9となっている。

表3.1.5-1 特定植物群落

件名	選定基準	相観区分
飛騨山脈の自然植生	A, B, C, D	植生一般
鉢盛山の原生林	A	亜寒帯常緑針葉高木林
末川の原生林	A	植生一般

注：選定基準の略号は以下のとおりである。

A：原生林もしくはそれに近い自然林

B：国内若干地域に分布するが，極めて稀な植物群落または個体群

C：比較的普通に見られるものであっても，南限，北限，隔離分布等分布限界になる産地に見られる植物群落または個体群

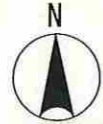
D：砂丘，断崖地，塩沼地，湖沼，河川，湿地，高山，石灰岩地等の特殊な立地に特有な植物群落または個体群で，その群落の特徴が典型的なもの

図3.1.5-1(1) 現存植生図

[縮尺1/50,000]

凡例

- : 対象事業
- : 調査範囲



III. 亜寒帯、亜高山帯代償植生
Substitutional Communities in Vaccinio-Piceetea Region

- 6 シラビソ-オオシラビソ群落
Abietum veitchii-mariesii
- 7 コメツグ群落
Thuja diversifolia community

IV. ブナクラス域自然植生
Natural Vegetation in Fagetea crenatae Region

- 12 ヒノキ群落
Chamaecyparis obtusa community
- 14 ヤナギ高木林
Salix spp. forest
- 21 アカマツ群落
Pinus densiflora community
- 40 ケヤキ群落
Zelkova serrata community

V. ブナクラス域代償植生
Substitutional Communities in Fagetea crenatae Region

- 42 クリーミズナク群落 *Castanea crenata*-*Quercus mongolica* community
- 43 カシミザクラ-コナク群落 *Prunus verecunda*-*Quercus serrata* community
- 44 アカマツ群落
Pinus densiflora community
- 51 シノブ群落
Zoyson japonicae
- 52 伐跡群落
Plant communities in clear-cut area

VII. 河辺・湿原・塩沼地・砂丘植生(各クラス域共通)
River-side, Moor, Salt marsh and Dune

- 67 ヨシクラス
Phragmites
- 48 カワラヨモギ群落
Artemisia capillaris community

IX. 植林地、耕作地植生(各クラス域共通)
Plantation and Cultural Land

- 68 スギ・ヒノキ・サワラ植林
Cryptomeria japonica, *Chamaecyparis obtusa*, *Chamaecyparis pisifera* plantation
- 69 カラマツ植林
Larix kaempferi plantation
- 70 外国産広葉樹植林
Exotic broad-leaved plantation
- 72 落葉果樹園
Deciduous orchard
- 74 畑地雑草群落
Field weed communities
- 75 水田雑草群落
Paddy-field weed communities
- 77 休耕田雑草群落
Weed communities in uncultivated paddy-field

X. その他
Others

- 78 市街地
Urban district with a few trees
- 79 緑の多い住宅地
Urban and residential district with many trees
- 80 造成地
Land constructed for residence and factory
- 81 開放水域
Open water
- 82 自然裸地
Natural bare land

注1. 凡例の詳細については、「植生調査報告書」に記載されている「凡例解説」を参照されたい。
注2. 凡例の学名及び英名は、環境省が付したものである。

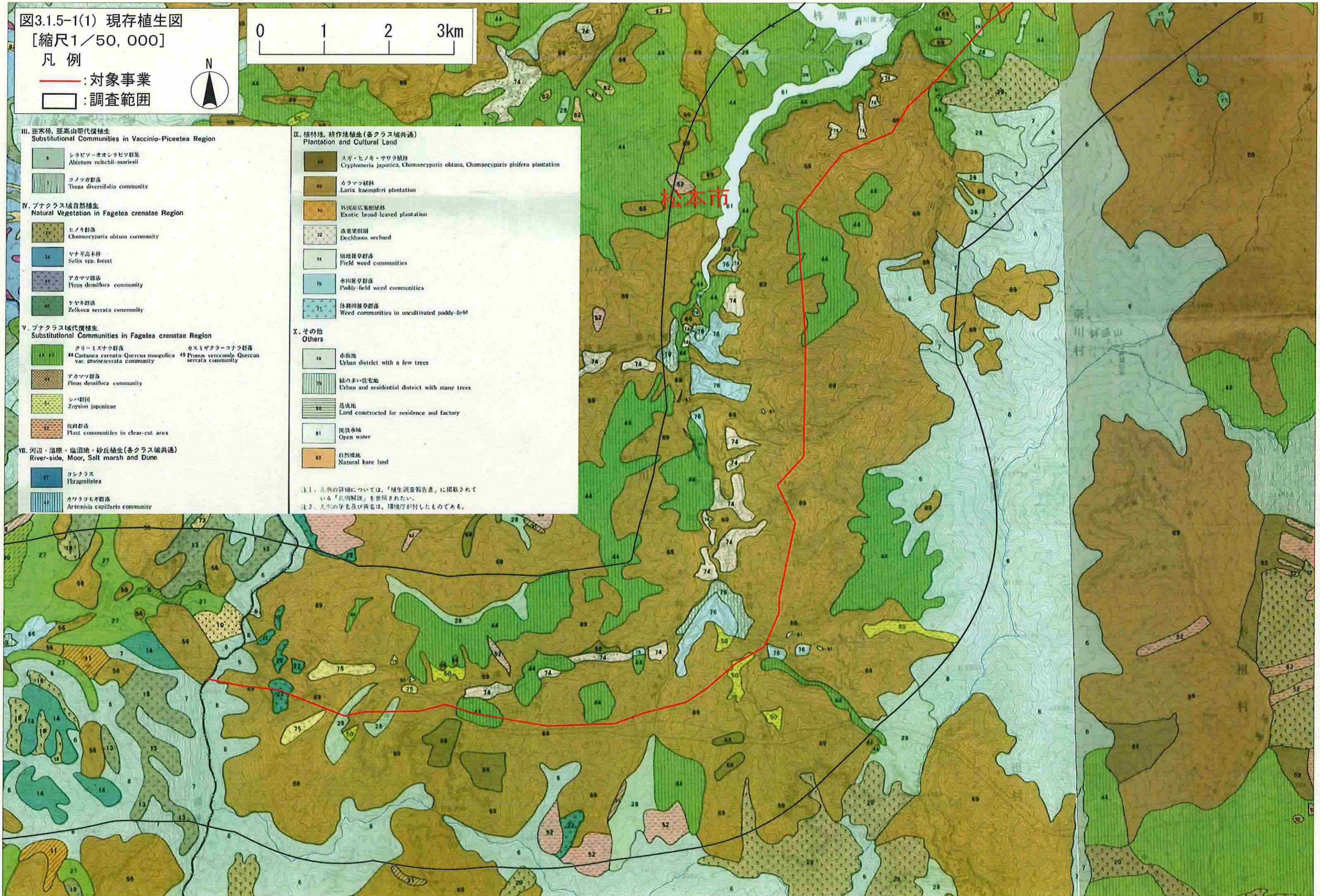
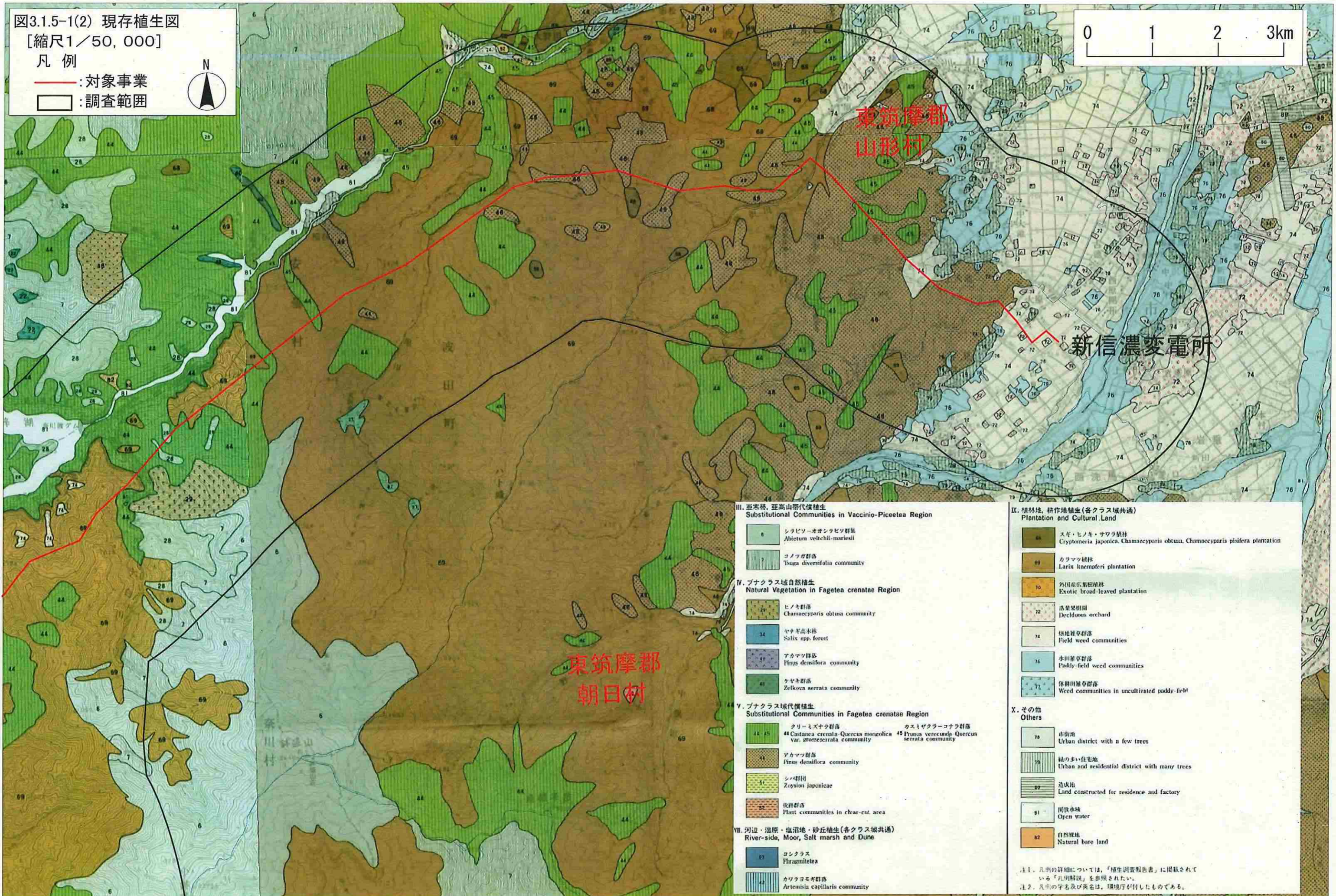


図3.15-1(2) 現存植生図

[縮尺1/50,000]

凡例

- : 対象事業
- : 調査範囲



III. 亜寒帯、亜高山帯代償植生
Substitutional Communities in Vaccinio-Piceetea Region

- 6 シラビソ-オオシタヒツ群集
Abietum velichii-mariesii
- 7 コノツグ群集
Tsuga diversifolia community

IV. フナクラス域自然植生
Natural Vegetation in Fagetea crenatae Region

- 29 ヒノキ群集
Chamaecyparis obtusa community
- 34 ヤナギ高木林
Salix spp. forest
- 31 アカマツ群集
Pinus densiflora community
- 40 ケヤキ群集
Zelkova serrata community

V. フナクラス域代償植生
Substitutional Communities in Fagetea crenatae Region

- 42 クリーミズナラ群集 *Castanea crenata* community
- 43 クスミザクラ-コナラ群集 *Quercus mongolica* var. *grosseserrata* community
- 45 *Frusan venecunda* *Quercus serrata* community
- 44 アカマツ群集
Pinus densiflora community
- 51 シバ群集
Zoysion japonicae
- 52 牧草群集
Plant communities in clear-cut area

VII. 河辺・湿原・塩沼地・砂丘植生(各クラス域共通)
River-side, Moor, Salt marsh and Dune

- 67 ヨシクラス
Phragmitetea
- 48 カワラヨモギ群集
Artemisia capillaris community

IX. 植林地、耕作地植生(各クラス域共通)
Plantation and Cultural Land

- 66 スギ・ヒノキ・サワラ植林
Cryptomeria japonica, *Chamaecyparis obtusa*, *Chamaecyparis pisifera* plantation
- 69 カラマツ植林
Larix kaempferi plantation
- 70 外国産広葉樹植林
Exotic broad-leaved plantation
- 72 落葉果樹園
Deciduous orchard
- 74 畑地雑草群落
Field weed communities
- 75 水田雑草群落
Paddy-field weed communities
- 71 休耕田雑草群落
Weed communities in uncultivated paddy field

X. その他
Others

- 78 市街地
Urban district with a few trees
- 79 緑の多い住宅地
Urban and residential district with many trees
- 80 造成地
Land constructed for residence and factory
- 81 開水
Open water
- 82 自然裸地
Natural bare land

注1. 凡例の詳細については、「植生調査報告書」に添付されている「凡例解説」を参照されたい。
注2. 凡例の学名及び英名は、環境庁が付したものである。

図3.1.5-2(1) 自然環境情報図

[縮尺1/50,000]

凡例

—:対象事業

□:調査範囲



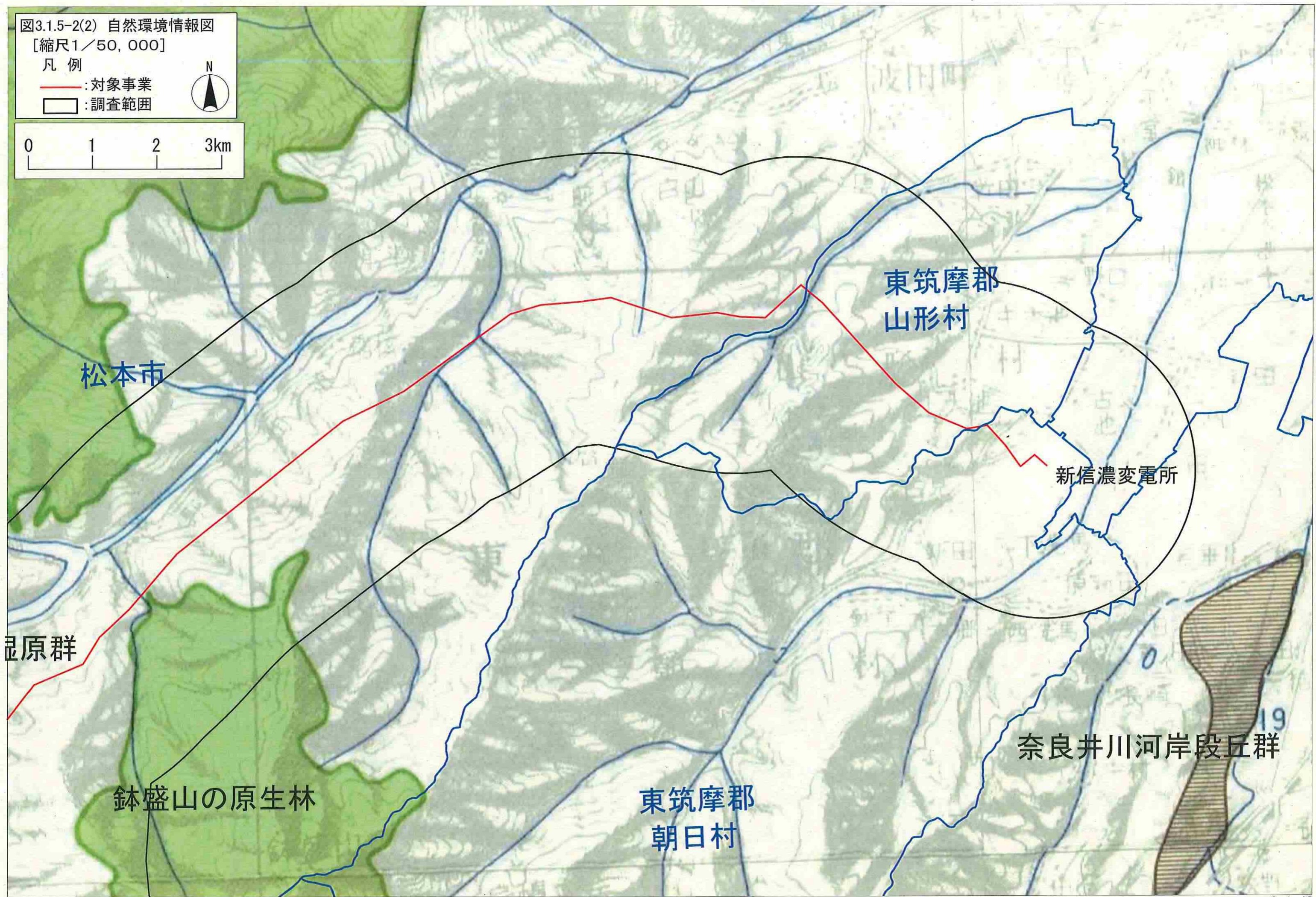
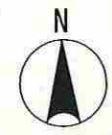
図3.1.5-2(2) 自然環境情報図

[縮尺1/50,000]

凡例

—:対象事業

□:調査範囲



松本市

東筑摩郡
山形村

新信濃変電所

湿原群

奈良井川河岸段丘群

鉢盛山の原生林

東筑摩郡
朝日村

図3.1.5-3(1) 植生自然度図

[縮尺1/50,000]

凡例

—:対象事業

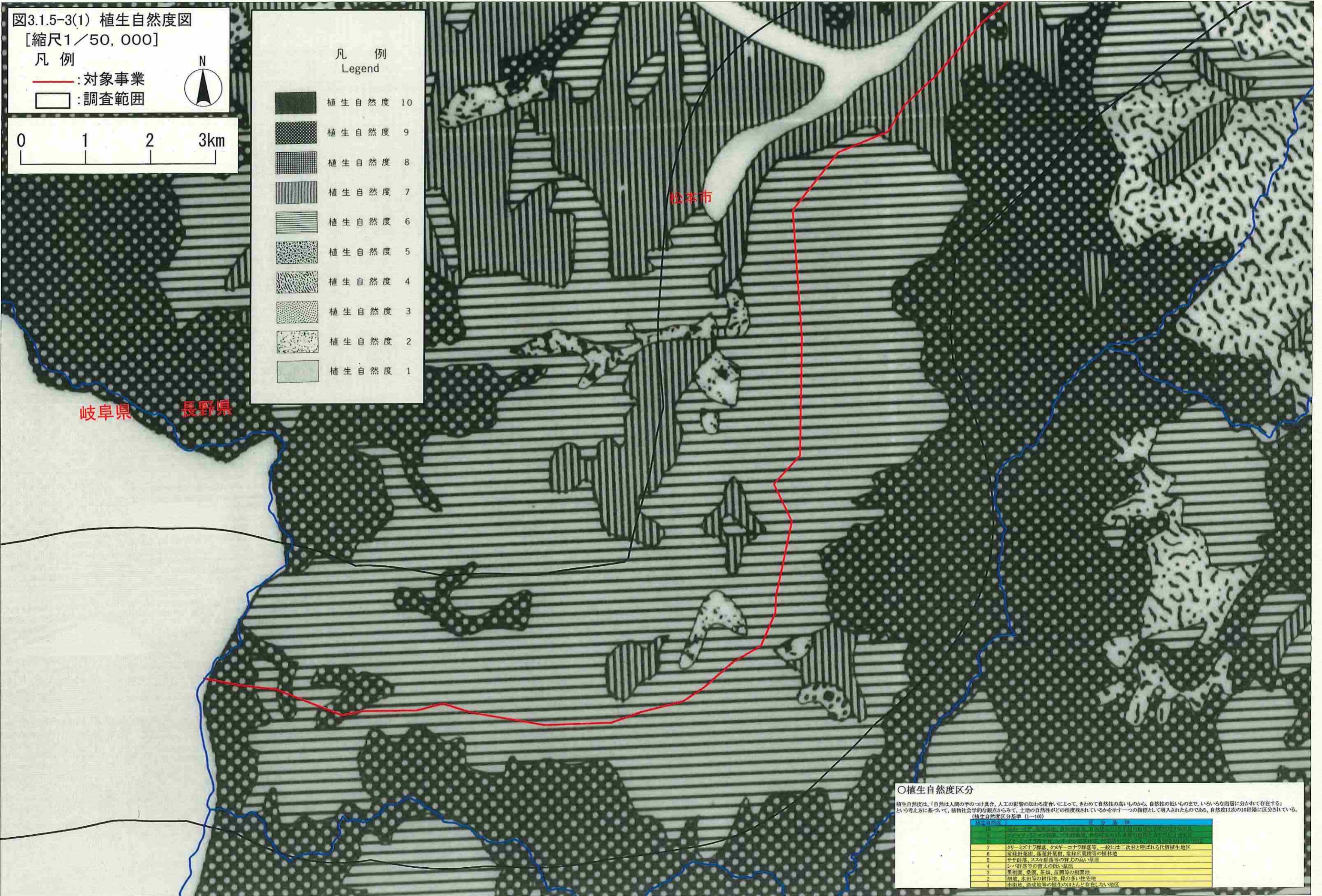
□:調査範囲



0 1 2 3km

凡例
Legend

- 植生自然度 10
- 植生自然度 9
- 植生自然度 8
- 植生自然度 7
- 植生自然度 6
- 植生自然度 5
- 植生自然度 4
- 植生自然度 3
- 植生自然度 2
- 植生自然度 1



○植生自然度区分

植生自然度は、「自然は人間の手のつけ具合、人工の影響の加わる度合いによって、きわめて自然性の高いものから、自然性の低いものまで、いろいろな階層に分かれて存在する」という考え方に基いて、植物社会学的な観点からみて、土地の自然性がどの程度残されているかを示す一つの指標として導入されたものである。自然度は次の10段階に区分されている。(植生自然度区分基準 (1~10))

植生自然度	区分基準
10	山地・丘陵・谷間の森林、自然林等の自然度の高い植生地区
9	山地・丘陵・谷間の森林、自然林等の自然度の高い植生地区
8	山地・丘陵・谷間の森林、自然林等の自然度の高い植生地区
7	クマシラナ群落、クヌギ・コナラ群落等、一般には二次林と呼ばれる代償植生地区
6	常緑針葉樹、落葉針葉樹、常緑広葉樹等の植林地
5	ササ群落、ススキ群落等の背丈の高い草原
4	シメツク等の背丈の低い草原
3	果樹園、茶園、菜園、苗圃等の利用地
2	畑地、水田等の利用地、緑の多い住宅地
1	市街地、造成地等の植生のほとんど存在しない地区

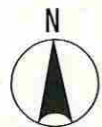
図3.1.5-3(2) 植生自然度図

[縮尺1/50,000]

凡例

— : 対象事業

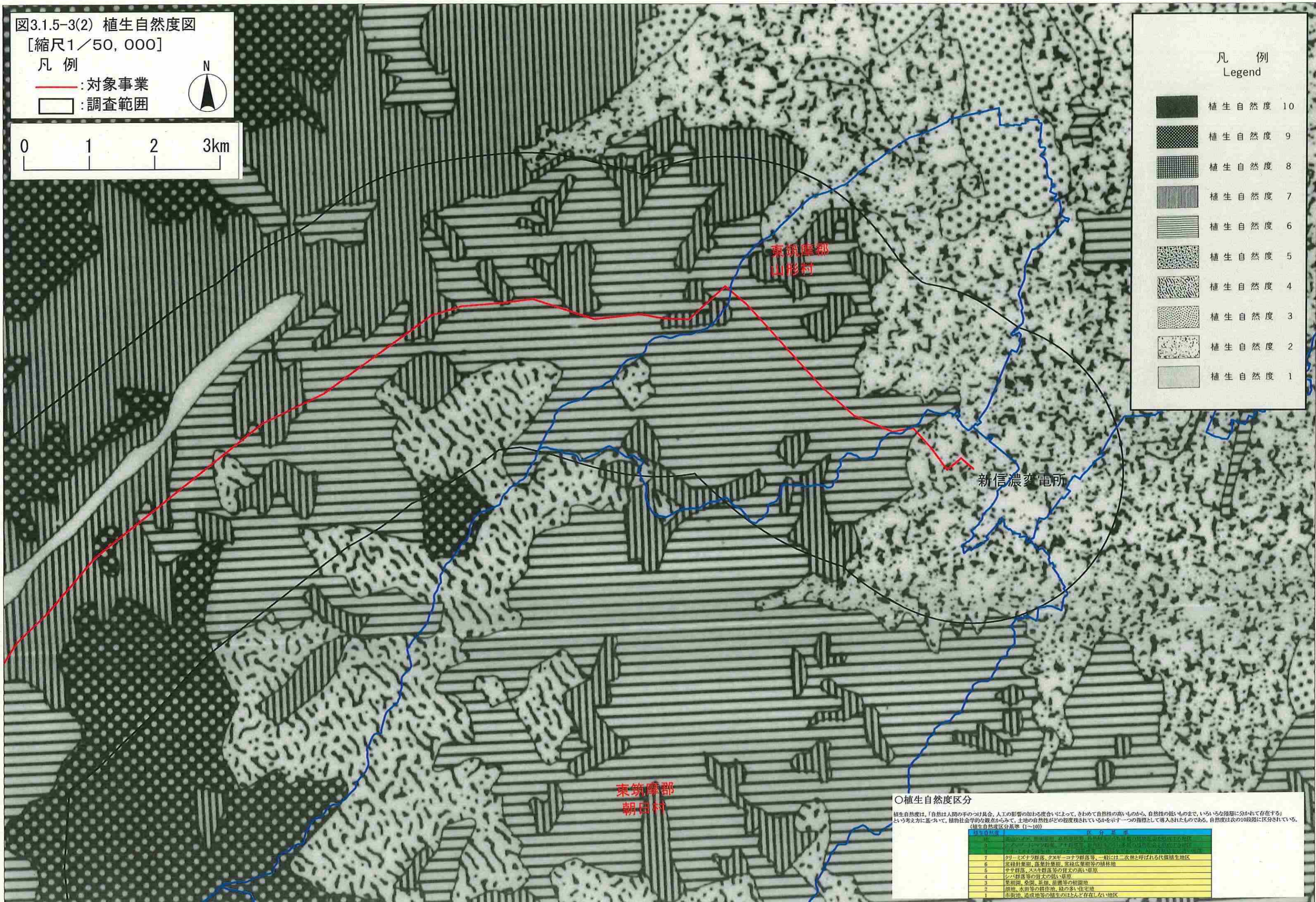
□ : 調査範囲



0 1 2 3km

凡例
Legend

- 植生自然度 10
- 植生自然度 9
- 植生自然度 8
- 植生自然度 7
- 植生自然度 6
- 植生自然度 5
- 植生自然度 4
- 植生自然度 3
- 植生自然度 2
- 植生自然度 1



○植生自然度区分

植生自然度は、「自然は人間の手のつけ具合、人工の影響の加わる度合いによって、きわめて自然性の高いものから、自然性の低いものまで、いろいろな階層に分かれて存在する」という考え方に基いて、植物社会学的な観点からみて、土地の自然性がどの程度残されているかを示す一つの指標として導入されたものである。自然度は次の10段階に区分されている。

(植生自然度区分基準 (1~10))

自然度	区分基準
10	原生林、天然林等の自然性の高い植生
9	二次林、天然林等の自然性の高い植生
8	天然林、天然林等の自然性の高い植生
7	クマシラヤブ群、クマシラヤブ群等、一般には二次林と呼ばれる代償植生地区
6	常緑針葉樹、落葉針葉樹、常緑広葉樹等の植生
5	ササ群、ススキ群等の自然性の高い植生
4	シラカシ等の自然性の低い植生
3	果樹園、桑園、茶畑、苗圃等の樹園地
2	畑地、水田等の耕作地、緑の多い住宅地
1	市街地、造成地等の植生のほとんど存在しない地区

b. 注目すべき群落・群生地の状況

「松本市文化財保護条例」(昭和 51 年. 松本市条例第 41 号), 「山形村文化財保護条例」(昭和 40 年. 山形村条例第 12 号), 「朝日村文化財の保護に関する条例」(昭和 40 年朝日村条例第 9 号) による対象事業実施区域周辺の群生地を表 3. 1. 5-2 に示す。4 件の天然記念物の群生地が分布している。

「長野県版レッドリスト～長野県の絶滅のおそれのある野生動植物～植物編 2014」(平成 26 年. 長野県)による対象事業実施区域周辺の群落を表 3. 1. 5-3 に示す。4 箇所に注目すべき群落が分布している。

表3. 1. 5-2 注目すべき群生地(天然記念物)

名称	所在地	指定年月日	種別
入山のトチの群生	松本市奈川4879-1	平成19年3月30日	松本市天然記念物
樫清水座禅草群生地	東筑摩郡山形村本沢	昭和60年5月16日	山形村天然記念物
池ノ戸カタクリ群生地	東筑摩郡山形村池の戸	昭和60年5月16日	山形村天然記念物
古川寺周辺のカタクリの群生	東筑摩郡朝日村古見1146	平成2年3月29日	朝日村天然記念物

表3. 1. 5-3 注目すべき群落

群落名	群系・群落複合タイプ	市町村名	地名	評価
ケショウヤナギーコゴメヤナギ群落	河畔林	松本市	波田・梓川	B
ハイマツ群落	高山・亜高山低木林	松本市	乗鞍岳	C
ジュンサイ群落	浮葉植物群落	松本市	大野川 御池	B
上高地 自然植生	冷温帯自然植生	松本市	安曇 上高地	B

注：評価の略号は以下のとおりである。

B：植物群落保護上の重要性が高いもの

C：植物群落保護の必要性が考えられるもの

(2) 植物の状況

a. 注目すべき植物(維管束植物)の状況

「長野県版レッドリスト～長野県の絶滅のおそれのある野生動植物～植物編 2014」(平成 26 年. 長野県)に記載されている種のうち、対象事業実施区域周辺に分布する維管束植物を表 3. 1. 5-4(1)～(4)に示す。ミヤマハナワラビ、クモマグサ、カミコウチテンナンショウ等の亜高山帯から高山帯に生育する種、アツモリソウ、ムラサキ、ネコヤマヒゴタイ、コウリンカ等の草原性の種、カキラン、ミズトンボ、トキシウ、カキツバタ等の湿地性の種、イチヨウラン、ミヤマツチトリモチ、テングノコヅチ等の森林性の種等、169 種が分布している。

表 3. 1. 5-4(1) 注目すべき植物(維管束植物)

No.	科名	和名	学名	法令・文献による指定状況				
				①	②	③	④	⑤
1	ハナヤスリ	ミヤマハナワラビ	<i>Botrychium lanceolatum</i> subsp. <i>lanceolatum</i>			CR	CR	
2		ヒメハナワラビ	<i>Botrychium lanceolatum</i> subsp. <i>lunaria</i>			VU	NT	
3	トクサ	イヌスギナ	<i>Equisetum palustre</i>				NT	
4	コケシノブ	キヨスミコケシノブ	<i>Hymenophyllum oligosorum</i>				EN	
5	イノモトソウ	ヤツガタケシノブ	<i>Cryptogramma stelleri</i>			NT	EN	
6	チャセンシダ	イチヨウシダ	<i>Asplenium ruta-muraria</i>			NT	NT	
7	イワデンダ	エビラシダ	<i>Gymnocarpium oyamense</i>				NT	
8	ウラボシ	オオクボシダ	<i>Micropolypodium okuboi</i>				NT	
9	マツ	イラモミ	<i>Picea alcoquiana</i>				NT	
10	ジュンサイ	ジュンサイ	<i>Brasenia schreberi</i>				NT	
11	スイレン	コウホネ	<i>Nuphar japonica</i> var. <i>japonica</i>				NT	
12	ウマノスズクサ	ミヤマアオイ	<i>Asarum fauriei</i> var. <i>nakaianum</i>			VU	NT	
13	サトイモ	カミコウチテンナンショウ	<i>Arisaema nikoense</i> subsp. <i>brevicollum</i>			VU	EN	
14	ヒルムシロ	イトモ	<i>Potamogeton berchtoldii</i>			NT	VU	
15		ホソバミズヒキモ	<i>Potamogeton octandrus</i> var. <i>octandrus</i>				NT	
16	ユリ	ササユリ	<i>Lilium japonicum</i>				NT	指
17		ホソバナアマナ	<i>Lloydia triflora</i>				NT	
18	ラン	キンセイラン	<i>Calanthe nipponica</i>			VU	CR	
19		ギンラン	<i>Cephalanthera erecta</i> var. <i>erecta</i>				NT	
20		アツモリソウ	<i>Cypripedium macranthos</i> var. <i>speciosum</i>		国内	VU	CR	特指

表 3.1.5-4(2) 注目すべき植物(維管束植物)

No.	科名	和名	学名	法令・文献による指定状況					
				①	②	③	④	⑤	
21	ラン	イチヨウラン	<i>Dactyloctenium aegyptium</i>				NT		
22		カキラン	<i>Epipactis thunbergii</i>				NT		
23		カモメラン	<i>Galearis cyclochila</i>				NT	EN	
24		アケボノシュスラン	<i>Goodyera foliosa</i> var. <i>laevis</i>					NT	
25		ヒメミヤマウズラ	<i>Goodyera repens</i>					NT	
26		ミズトンボ	<i>Habenaria sagittifera</i>				VU	VU	
27		オオハクウンラン	<i>Kuhlhasseltia fissa</i>				VU	CR	
28		タカネトンボ	<i>Limnorchis chorisiana</i> var. <i>chorisiana</i>				VU	EN	
29		シロウマチドリ	<i>Limnorchis convallariifolia</i>				VU	EN	
30		ホザキノイチヨウラン	<i>Malaxis monophyllos</i>					NT	
31		アリドオシラン	<i>Myrmechis japonica</i>					NT	
32		コケイラン	<i>Oreorchis patens</i>					NT	
33		ミズチドリ	<i>Platanthera hologlottis</i>					NT	指
34		タカネサギソウ	<i>Platanthera mandarinorum</i> subsp. <i>maximowicziana</i>					VU	
35		オオキソチドリ	<i>Platanthera ophrydioides</i> var. <i>ophrydioides</i>					EN	
36		ミヤマチドリ	<i>Platanthera takedae</i> subsp. <i>takedae</i>					EN	
37		ガッサンチドリ	<i>Platanthera takedae</i> subsp. <i>uzenensis</i>				EN	EN	
38		コバノトンボソウ	<i>Platanthera tipuloides</i> subsp. <i>nipponica</i>					NT	
39		トキソウ	<i>Pogonia japonica</i>				NT	VU	指
40		ウチヨウラン	<i>Ponerorchis graminifolia</i> var. <i>graminifolia</i>				VU	EN	
41		ヒトツボクロ	<i>Tipularia japonica</i> var. <i>japonica</i>					NT	
42		ショウキラン	<i>Yuania japonica</i>					VU	
43	アヤメ	カキツバタ	<i>Iris laevigata</i>				NT	NT	
44	ススキノキ	ユウスゲ	<i>Hemerocallis citrina</i> var. <i>vespertina</i>					NT	
45	ガマ	タマミクリ	<i>Sparganium glomeratum</i>				NT	VU	
46		ナガエミクリ	<i>Sparganium japonicum</i>				NT	EN	
47	ホシクサ	ホシクサ	<i>Eriocaulon cinereum</i>					VU	
48		オオムラホシクサ	<i>Eriocaulon omuranum</i>				EN	VU	
49	イグサ	ミヤマイ	<i>Juncus beringensis</i>				NT	NT	
50		ミクリゼキショウ	<i>Juncus ensifolius</i>					VU	
51		オカスズメノヒエ	<i>Luzula pallidula</i>					EN	
52	カヤツリグサ	アゼナルコ	<i>Carex dimorpholepis</i>					EN	
53		タカネヤガミスゲ	<i>Carex lachenalii</i>				NT	NT	
54		ダケスゲ	<i>Carex magellanica</i> subsp. <i>irrigua</i>				VU	EN	
55		ホソバオゼヌマスゲ	<i>Carex nemurensis</i>				NT	NT	
56		ナガボノコジュズスゲ	<i>Carex parviflora</i> var. <i>vaniotii</i>					EN	
57		コイトスゲ	<i>Carex sachalinensis</i> var. <i>iwakiana</i>					NT	
58		アシボソスゲ	<i>Carex scita</i> var. <i>tenuiseta</i>				NT	NT	
59		アオガヤツリ	<i>Cyperus nipponicus</i> var. <i>nipponicus</i>					NT	
60		クロヌマハリイ	<i>Eleocharis palustris</i>					EN	
61		ヒメヒラテンツキ	<i>Fimbristylis autumnalis</i>					NT	
62	イネ	ヒロハノコヌカグサ	<i>Aniselytron treutleri</i> var. <i>japonicum</i>					EN	
63		コウヤザサ	<i>Brachyelytrum japonicum</i>					NT	
64		オオヒゲガリヤス	<i>Calamagrostis</i> × <i>grandiseta</i>					VU	
65		エゾムギ	<i>Elymus sibiricus</i>				CR	NT	
66		タカネウシノケグサ	<i>Festuca ovina</i> subsp. <i>ovina</i> var. <i>tateyamensis</i>					EN	
67		アシカキ	<i>Leersia japonica</i>					NT	
68		ヒロハヌマガヤ	<i>Neomolinia fauriei</i>					NT	
69		フオーリーガヤ	<i>Schizachne purpurascens</i> subsp. <i>callosa</i>				CR	EN	
70		ホソバドジョウツナギ	<i>Torreochloa natans</i>				CR	CR	
71		ミヤマカニツリ	<i>Trisetum koidzumianum</i>				VU	EN	
72	ケシ	ツルケマン	<i>Corydalis ochotensis</i>				EN	EN	
73		ナガミノツルケマン	<i>Corydalis raddeana</i>				NT		
74	キンボウゲ	ミチノクフクジュソウ	<i>Adonis multiflora</i>				NT	N	
75		フクジュソウ	<i>Adonis ramosa</i>					NT	
76		イチリンソウ	<i>Anemone nikoensis</i>					NT	
77		レンゲショウマ	<i>Anemonopsis macrophylla</i>					NT	
78		チチブシロカネソウ	<i>Enemion raddeanum</i>					NT	
79		セツブンソウ	<i>Eranthis pinnatifida</i>				NT	VU	
80		オキナグサ	<i>Pulsatilla cernua</i>				VU	EN	指
81		イチヨウバイカモ	<i>Ranunculus nipponicus</i> var. <i>nipponicus</i>					CR	
82		キンバイソウ	<i>Trollius hondoensis</i>					NT	
83	ボタン	ヤマシャクヤク	<i>Paeonia japonica</i>				NT	VU	指

表 3.1.5-4(3) 注目すべき植物(維管束植物)

No.	科名	和名	学名	法令・文献による指定状況				
				①	②	③	④	⑤
84	スグリ	エゾスグリ	<i>Ribes latifolium</i>				CR	
85	ユキノシタ	ボタンネコノメソウ	<i>Chrysosplenium kiotoense</i>				NT	
86		ヨゴレネコノメ	<i>Chrysosplenium macrostemon</i> var. <i>atrandrum</i>				NT	
87		クモマグサ	<i>Saxifraga merkii</i> var. <i>idsuroei</i>				EN	
88	ベンケイソウ	ツメレンゲ	<i>Orostachys japonica</i>			NT	NT	
89		マルバマンネングサ	<i>Sedum makinoi</i> var. <i>makinoi</i>				VU	
90		チチブベンケイ	<i>Sedum shimizuanum</i>				CR	
91	マメ	モメンヅル	<i>Astragalus reflexistipulus</i>				NT	
92		サイカチ	<i>Gleditsia japonica</i>				NT	
93		レンリソウ	<i>Lathyrus quinquenervius</i>				NT	
94		イヌハギ	<i>Lespedeza tomentosa</i>				VU	N
95	バラ	マメザクラ	<i>Cerasus incisa</i> var. <i>incisa</i>				NT	
96	クロウメモドキ	ミヤマクマヤナギ	<i>Berchemia pauciflora</i>				NT	
97	ブナ	ナラガシワ	<i>Quercus aliena</i>				VU	
98	ニシキギ	ムラサキマユミ	<i>Euonymus lanceolatus</i>				NT	
99	カタバミ	オオヤマカタバミ	<i>Oxalis obtriangulata</i>				VU	NT
100	ヤナギ	ケシヨウヤナギ	<i>Salix arbutifolia</i>				NT	
101		エゾノカワヤナギ	<i>Salix miyabeana</i> subsp. <i>miyabeana</i>				CR	
102		エゾヤナギ	<i>Salix rorida</i>				EN	
103		コマイワヤナギ	<i>Salix rupifraga</i>				VU	NT
104		エゾノキヌヤナギ	<i>Salix schwerinii</i>				CR	
105	スマレ	マキノスマレ	<i>Viola violacea</i> var. <i>makinoi</i>				NT	
106	オトギリソウ	アカテンオトギリ	<i>Hypericum hakonense</i> var. <i>rubropunctatum</i>				NT	
107	フウロソウ	イチゲフウロ	<i>Geranium sibiricum</i>				CR	
108		アサマフウロ	<i>Geranium soboliferum</i> var. <i>hakusanense</i>				NT	NT
109	アカバナ	シロウマアカバナ	<i>Epilobium lactiflorum</i>				NT	
110	アオイ	カラスノゴマ	<i>Corchoropsis crenata</i>				NT	
111	ジンチョウゲ	ナニワズ	<i>Daphne jezoensis</i>				EN	
112	アブラナ	クモナズナ	<i>Draba sakuraii</i> var. <i>nipponica</i>				VU	NT
113	ツチトリモチ	ミヤマツチトリモチ	<i>Balanophora nipponica</i>				VU	NT
114	タデ	ハルトラノオ	<i>Bistorta tenuicaulis</i> var. <i>tenuicaulis</i>				NT	
115		ノダイオウ	<i>Rumex longifolius</i>				VU	N
116	ナデシコ	タガソデソウ	<i>Cerastium pauciflorum</i> var. <i>amurense</i>				VU	NT
117		タカネミミナグサ	<i>Cerastium rubescens</i> var. <i>koreanum</i> f. <i>takedae</i>				VU	EN
118		シコタンハコベ	<i>Stellaria ruscifolia</i>				VU	NT
119	ヒユ	ミドリアカザ	<i>Chenopodium bryoniifolium</i>				CR	NT
120	ツツジ	キョウマルシャクナゲ	<i>Rhododendron japonheptamerum</i> var. <i>kyomariuense</i>				VU	NT
121		ダイセンミツバツツジ	<i>Rhododendron lagopus</i> var. <i>lagopus</i>				NT	
122	リンドウ	ホソバノツルリンドウ	<i>Pterygocalyx volubilis</i>				VU	NT
123		センブリ	<i>Swertia japonica</i> var. <i>japonica</i>				NT	
124		テングノコヅチ	<i>Tripterospermum japonicum</i> var. <i>involutibile</i>				NT	NT
125	キョウチクトウ	コカモメヅル	<i>Tylophora floribunda</i>				NT	
126		スズサイコ	<i>Vincetoxicum pycnostelma</i>				NT	NT
127	ムラサキ	サウルリソウ	<i>Ancistrocarya japonica</i>				NT	
128		ムラサキ	<i>Lithospermum erythrorhizon</i>				EN	CR
129	オオバコ	サワトウガラシ	<i>Deinostema violaceum</i>				NT	
130		ヒヨクソウ	<i>Veronica laxa</i>				NT	
131		グンバイヅル	<i>Veronica onoei</i>				VU	NT
132		イヌノフグリ	<i>Veronica porita</i> var. <i>lilacina</i>				VU	VU
133		カワヂシャ	<i>Veronica undulata</i>				NT	NT
134	ゴマノハグサ	ゴマノハグサ	<i>Scrophularia buergeriana</i>				VU	EN
135		オオヒナノウスツボ	<i>Scrophularia kakudensis</i> var. <i>kakudensis</i>				NT	
136	アゼナ	アゼトウガラシ	<i>Lindernia micrantha</i>				NT	
137	シソ	カイジンドウ	<i>Ajuga ciliata</i> var. <i>villosior</i>				VU	NT
138		タチキランソウ	<i>Ajuga makinoi</i>				NT	NT
139		ツルカコソウ	<i>Ajuga shikotanensis</i>				VU	NT
140		チシマオドリコソウ	<i>Galeopsis bifida</i>				VU	
141		タイリンヤマハッカ	<i>Isodon umbrosus</i> var. <i>excisinflexus</i>				NT	
142		メハジキ	<i>Leonurus japonicus</i>				NT	
143		キセワタ	<i>Leonurus macranthus</i>				VU	N
144		ヤマジソ	<i>Mosla japonica</i> var. <i>japonica</i>				NT	NT
145		カリガネソウ	<i>Tripura divaricata</i>				NT	
146	ハマウツボ	オオナンバンギセル	<i>Aeginetia sinensis</i>				EN	

表 3.1.5-4(4) 注目すべき植物(維管束植物)

No.	科名	和名	学名	法令・文献による指定状況				
				①	②	③	④	⑤
147	ハマウツボ	オニク	<i>Boschniakia rossica</i>				NT	
148		ヤマウツボ	<i>Lethraea japonica</i> var. <i>japonica</i>				EN	
149		ケヤマウツボ	<i>Lethraea japonica</i> var. <i>miqueliana</i>				EN	
150		ツシマママコナ	<i>Melampyrum roseum</i> var. <i>roseum</i>				NT	
151		ヒキヨモギ	<i>Siphonostegia chinensis</i>				NT	
152	タヌキモ	イヌタヌキモ	<i>Utricularia australis</i>			NT	NT	
153	キキョウ	キキョウ	<i>Platycodon grandiflorus</i>			VU	NT	
154	キク	アサギリソウ	<i>Ariemisia schmidtiana</i>				VU	
155		キクタニギク	<i>Chrysanthemum seticuspe</i> f. <i>boreale</i>			NT	NT	
156		キソアザミ	<i>Cirsium fauriei</i>				NT	
157		オニオオノアザミ	<i>Cirsium japonicum</i> subsp. <i>japonicum</i> var. <i>diabolicum</i>				VU	
158		アズマギク	<i>Erigeron thunbergii</i> subsp. <i>thunbergii</i>				VU	
159		ミヤマイワニガナ	<i>Ixeris stolonifera</i> var. <i>capillaris</i>				EN	
160		カワラニガナ	<i>Ixeris tamagawaensis</i>			NT	VU	
161		アキノハハコグサ	<i>Pseudognaphalium hypoleucum</i>			EN	NT	
162		ミヤコアザミ	<i>Saussurea maximowiczii</i>				NT	
163		ネコヤマヒゴタイ	<i>Saussurea modesta</i>			VU	NT	
164		ヒメヒゴタイ	<i>Saussurea pulchella</i>			VU	VU	
165		コウリンカ	<i>Tephrosieris flammea</i> subsp. <i>glabrifolia</i>			VU	N	
166		オナモミ	<i>Xanthium strumarium</i> subsp. <i>sibiricum</i>			VU	VU	
167	レンブクソウ	ゴマキ	<i>Viburnum sieboldii</i> var. <i>sieboldii</i>				NT	
168	セリ	カワラボウフウ	<i>Kitagawia terebinthacea</i> var. <i>deltoidea</i>				CR	
169		クロバナウマノミツバ	<i>Sanicula rubriflora</i>				NT	

注1：種名及び配列は、「日本維管束植物目録」(平成24年. 邑田仁ほか)に従った。

注2：法令・文献による指定状況の略号は以下のとおりである。

- ① 「文化財保護法」(昭和25年. 法律第214号)
「文化財保護条例」(昭和50年. 長野県条例第44号)
「松本市文化財保護条例」(昭和51年. 松本市条例第41号)
「山形村文化財保護条例」(昭和40年. 山形村条例第12号)
「朝日村文化財の保護に関する条例」(昭和40年. 朝日村条例第9号)
- ② 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年. 法律第75号)
国内：国内希少野生動植物種
- ③ 「レッドデータブック 2014—日本の絶滅のおそれのある野生生物—8 植物 I (維管束植物)」(平成27年. 環境省)
CR：絶滅危惧 IA 類, EN：絶滅危惧 IB 類, VU：絶滅危惧 II 類, NT：準絶滅危惧
- ④ 「長野県版レッドリスト～長野県の絶滅のおそれのある野生動植物～植物編 2014」(平成26年. 長野県)
CR：絶滅危惧 IA 類, EN：絶滅危惧 IB 類, VU：絶滅危惧 II 類, NT：準絶滅危惧, N：留意種
- ⑤ 「長野県希少野生動植物保護条例」(平成15年. 長野県条例第32号)
特指：特別指定希少野生動植物, 指：指定希少野生動植物

b. 注目すべき植物(非維管束植物)の状況

「長野県版レッドリスト～長野県の絶滅のおそれのある野生動植物～植物編 2014」(平成 26 年、長野県)に記載されている種のうち、対象事業実施区域周辺に分布する非維管束植物を表 3.1.5-5 に示す。蘚苔類 10 種、地衣類 4 種の合計 14 種が分布している。

表 3.1.5-5 注目すべき植物(非維管束植物)

No.	分類群	科名	種名	学名	法令・文献による指定状況				
					①	②	③	④	⑤
1	蘚苔類	キヌシツボゴケ	キヌシツボゴケモドキ	<i>Brachydontium trichodes</i>			VU	NT	
2		カワゴケ	クロカワゴケ	<i>Fontinalis antipyretica</i>			VU	VU	
3		ギボウシゴケ	イボハシモフリゴケモドキ	<i>Grimmia anomala</i>				VU	
4			コスナゴケ	<i>Grimmia curvata</i>				NT	
5			チチレバギボウシゴケ	<i>Grimmia incurve</i>				VU	
6			ミギワギボウシゴケ	<i>Grimmia mollis</i>			CR+EN	CR+EN	
7		ヤナギゴケ	テリハミズハイゴケ	<i>Hygrohypnum alpinum</i>				VU	
8		オオツボゴケ	イシヅチゴケ	<i>Oedipodium griffithianum</i>			VU	NT	
9		ヒカリゴケ	ヒカリゴケ	<i>Schistostega pennata</i>			NT	NT	
10		タチヒダゴケ	カメゴケモドキ	<i>Zygodon viridissimus</i>			VU	VU	
11	地衣類	サビイボゴケ	オオサビイボゴケ	<i>Brigantiaea nipponica</i>			VU	CR+EN+VU	
12		ハナゴケ	ヒメミヅハナゴケ	<i>Cladonia brevis</i>			NT	NT	
13		アナイボゴケ	カワイワタケ(アカウラカワイワタケ)	<i>Dermatocarpon miniatum</i>				NT	
14		ツメゴケ	ヒラミヤイトゴケ	<i>Solorina platycarpa</i>			CR+EN	CR+EN+VU	

注1：種名は「長野県版レッドリスト～長野県の絶滅のおそれのある野生動植物～植物編 2014」(平成 26 年、長野県)に従い、配列は学名のアルファベット順とした。

注2：法令・文献による指定状況の略号は以下のとおりである。

- ① 「文化財保護法」(昭和 25 年、法律第 214 号)
「文化財保護条例」(昭和 50 年、長野県条例第 44 号)
「松本市文化財保護条例」(昭和 51 年、松本市条例第 41 号)
「山形村文化財保護条例」(昭和 40 年、山形村条例第 12 号)
「朝日村文化財の保護に関する条例」(昭和 40 年、朝日村条例第 9 号)
- ② 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成 4 年、法律第 75 号)
- ③ 「レッドデータブック 2014—日本の絶滅のおそれのある野生生物—9 植物Ⅱ(蘚苔類・藻類・地衣類・菌類)」(平成 27 年、環境省)
CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧
- ④ 「長野県版レッドリスト～長野県の絶滅のおそれのある野生動植物～植物編 2014」(平成 26 年、長野県)
CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR+EN+VU：絶滅危惧、VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧
- ⑤ 「長野県希少野生動植物保護条例」(平成 15 年、長野県条例第 32 号)

3.1.5.2 動物

(1) 哺乳類の状況

a. 自然環境保全基礎調査による哺乳類の状況

「日本の動物分布図集 動物分類群別分布図 哺乳類」(平成22年. 環境省)によると, 対象事業実施区域周辺にはトガリネズミ, ジネズミ, ヒメヒミズ, ヒミズ, アズマモグラ, ニホンザル, タヌキ, キツネ, テン, アナグマ, ツキノワグマ, ハクビシン, イノシシ, ニホンジカ, ニホンカモシカ, ニホンリス, ヤチネズミ, アカネズミ, ヒメネズミ, ノウサギが分布している。いずれも本州の平地から山地に一般的に見られる種である。

b. 注目すべき哺乳類の状況

「長野県版レッドリスト～長野県の絶滅のおそれのある野生動植物～動物編 2015」(平成 27 年. 長野県)に記載されている種のうち, 対象事業実施区域周辺に分布する哺乳類を表 3.1.5-6 に示す。アズミトガリネズミやクビワコウモリ, ホンドオコジョ, ヤマネ等の山地から亜高山帯のやや標高の高い場所に生息する種を中心に, 13 種が分布している。

表 3.1.5-6 注目すべき哺乳類

No.	目名	科名	和名	学名	法令・文献による指定状況					
					①	②	③	④	⑤	
1	モグラ	トガリネズミ	アズミトガリネズミ	<i>Sorex hosonoi hosonoi</i>			NT	VU		
2			ホンシュウトガリネズミ	<i>Sorex caecutiens shinto</i>				NT		
3			カワネズミ	<i>Chimarrogale platycephala</i>					NT	
4	コウモリ	ヒナコウモリ	シナノホオヒゲコウモリ	<i>Myotis ikonnikovi hosonoi</i>					EN	
5			カグヤコウモリ	<i>Myotis frater kaguyae</i>					EN	
6			モリアブラコウモリ	<i>Pipistrellus endoi</i>				VU	DD	
7			クビワコウモリ	<i>Eptesicus japonensis</i>				VU	EN	指
8			ヤマコウモリ	<i>Nyctalus aviator</i>				VU	VU	
9			チチブコウモリ	<i>Barbastella leucomelas darjelingensis</i>					LP	CR
10			ニホンウサギコウモリ	<i>Plecotus auritus sacrimontis</i>						VU
11		オヒキコウモリ	オヒキコウモリ	<i>Tadarida insignis</i>				VU	DD	
12	ネコ	イタチ	ホンドオコジョ	<i>Mustela erminea nippon</i>	県天			NT	NT	
13	ネズミ	ヤマネ	ヤマネ	<i>Glirulus japonicus</i>	天				NT	

注1: 種名及び配列は, 「日本野生鳥獣目録」(平成 14 年. 環境省)に従った。

注2: 法令・文献による指定状況の略号は以下のとおりである。

① 「文化財保護法」(昭和 25 年. 法律第 214 号)

天: 国指定天然記念物

「文化財保護条例」(昭和 50 年. 長野県条例第 44 号)

県天: 県指定天然記念物

「松本市文化財保護条例」(昭和 51 年. 松本市条例第 41 号)

「山形村文化財保護条例」(昭和 40 年. 山形村条例第 12 号)

「朝日村文化財の保護に関する条例」(昭和 40 年. 朝日村条例第 9 号)

② 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成 4 年. 法律第 75 号)

③ 「レッドデータブック 2014—日本の絶滅のおそれのある野生生物—1 哺乳類(平成 26 年. 環境省)

VU: 絶滅危惧Ⅱ類, NT: 準絶滅危惧, LP: 絶滅のおそれのある地域個体群

④ 「長野県版レッドリスト～長野県の絶滅のおそれのある野生動植物～動物編 2015」(平成 27 年. 長野県)

CR: 絶滅危惧ⅠA類, EN: 絶滅危惧ⅠB類, VU: 絶滅危惧Ⅱ類, NT: 準絶滅危惧, DD: 情報不足

⑤ 「長野県希少野生動植物保護条例」(平成 15 年. 長野県条例第 32 号)

指: 指定希少野生動植物

(2) 鳥類の状況

a. 自然環境保全基礎調査による鳥類の状況

「日本の動物分布図集 動物分類群別分布図 鳥類」(平成 22 年、環境省)によると、対象事業実施区域周辺にはカイツブリ、ゴイサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、オナガガモ、カワアイサ、トビ、ノスリ、チョウゲンボウ、ライチョウ、ヤマドリ、キジ、バン、イカルチドリ、タゲリ、ヤマシギ、アオシギ、キジバト、アオバト、ジュウイチ、カッコウ、ツツドリ、ホトトギス、トラフズク、アオバズク、フクロウ、ヨタカ、アマツバメ、ヤマセミ、カワセミ、アオゲラ、アカゲラ、オオアカゲラ、コゲラ、ヒバリ、ツバメ、イワツバメ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ビンズイ、タヒバリ、サンショウクイ、ヒヨドリ、モズ、アカモズ、ヒレンジャク、カワガラス、ミソサザイ、イワヒバリ、カヤクグリ、コマドリ、コルリ、ルリビタキ、ジョウビタキ、トラツグミ、マミジロ、クロツグミ、アカハラ、ツグミ、ヤブサメ、ウグイス、オオヨシキリ、メボソムシクイ、エゾムシクイ、センダイムシクイ、クキイタダキ、キビタキ、オオルリ、コサメビタキ、エナガ、コガラ、ヒガラ、ヤマガラ、シジュウカラ、ゴジュウカラ、メジロ、ホオジロ、カシラダカ、ミヤマホオジロ、ノジコ、アオジ、アトリ、カワラヒワ、マヒワ、ベニマシコ、ウソ、イカル、シメ、スズメ、コムドリ、ムクドリ、カケス、オナガ、ホシガラス、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ドバト、ホンセイインコが分布している。本州内陸で繁殖する種や冬鳥として渡来する種等である。

b. 注目すべき鳥類の状況

「長野県版レッドリスト～長野県の絶滅のおそれのある野生動植物～動物編 2015」(平成 27 年、長野県)に記載されている種のうち、対象事業実施区域周辺に分布する鳥類を表 3.1.5-7 に示す。ヨシゴイ等の水辺に生息する種、クマタカ等の生態系の上位種であるタカ類、オオアカゲラ等の山地の樹林に生息する種、ノビタキ等の草原に生息する種等、30 種が分布している。

表 3.1.5-7 注目すべき鳥類

No.	目名	科名	和名	学名	法令・文献による指定状況					
					①	②	③	④	⑤	
1	カイツブリ	カイツブリ	ハジロカイツブリ	<i>Podiceps nigricollis nigricollis</i>				NT		
2	ベリカン	サギ	ヨシゴイ	<i>Ixobrychus sinensis sinensis</i>			NT	EN		
3			ササゴイ	<i>Butorides striata amurensis</i>				VU		
4			コサギ	<i>Egretta garzetta garzetta</i>					NT	
5	ツル	クイナ	ヒクイナ	<i>Porzana fusca erythrothorax</i>			NT	CR		
6	ヨタカ	ヨタカ	ヨタカ	<i>Caprimulgus indicus jotaka</i>			NT	VU		
7	チドリ	シギ	ケリ	<i>Vanellus cinereus</i>			DD	VU		
8			アオアシシギ	<i>Tringa nebularia</i>				VU		
9			タカブシギ	<i>Tringa glareola</i>				VU	VU	
10			キアシシギ	<i>Heteroscelus brevipes</i>					NT	
11	タカ	タカ	ハマシギ	<i>Calidris alpina sakhalina</i>			NT	NT		
12			ハチクマ	<i>Pernis ptilorhynchus orientalis</i>			NT	VU		
13			ツミ	<i>Accipiter gularis gularis</i>				DD		
14			ハイタカ	<i>Accipiter nisus nisosimilis</i>				NT	VU	
15			オオタカ	<i>Accipiter gentilis fujiyamae</i>		国内		NT	VU	
16			サシバ	<i>Butastur indicus</i>				VU	EN	
17			イヌワシ	<i>Aquila chrysaetos japonica</i>	天	国内	EN	CR	特指	
18			クマタカ	<i>Nisaetus nipalensis orientalis</i>		国内	EN	EN	指	
19	フクロウ	フクロウ	コノハズク	<i>Otus sunia japonicus</i>				VU		
20			アオバズク	<i>Ninox scutulata japonica</i>				EN		
21			トラフズク	<i>Asio otus otus</i>					EN	
22	ブッポウソウ	カワセミ	ヤマセミ	<i>Megaceryle lugubris lugubris</i>				VU		
23	キツツキ	キツツキ	オオアカゲラ	<i>Dendrocopos leucotos stejnegeri</i>				NT		
24	ハヤブサ	ハヤブサ	チゴハヤブサ	<i>Falco subbuteo subbuteo</i>				EN		
25			ハヤブサ	<i>Falco peregrinus japonensis</i>		国内	VU	EN		
26	スズメ	サンショウクイ	サンショウクイ	<i>Pericrocotus divaricatus divaricatus</i>			VU	N		
27			カササギヒタキ	サンコウチョウ	<i>Terpsiphone atrocaudata atrocaudata</i>				VU	
28			モズ	アカモズ	<i>Lanius cristatus superciliosus</i>			EN	EN	
29			ヒタキ	ノビタキ	<i>Saxicola torquatus stejnegeri</i>				NT	
30	ホオジロ	ノジコ	ノジコ	<i>Emberiza sulphurata</i>			NT	NT		

注1：種名及び配列は、「日本鳥類目録 改訂第7版」（平成24年．日本鳥学会）に従った。

注2：法令・文献による指定状況の略号は以下のとおりである。

- ① 「文化財保護法」（昭和25年．法律第214号）
天：国指定天然記念物
「文化財保護条例」（昭和50年．長野県条例第44号）
「松本市文化財保護条例」（昭和51年．松本市条例第41号）
「山形村文化財保護条例」（昭和40年．山形村条例第12号）
「朝日村文化財の保護に関する条例」（昭和40年．朝日村条例第9号）
- ② 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成4年．法律第75号）
国内：国内希少野生動植物種
- ③ 「レッドデータブック 2014－日本の絶滅のおそれのある野生生物－2 鳥類（平成26年．環境省）
EN：絶滅危惧ⅠB類，VU：絶滅危惧Ⅱ類，NT：準絶滅危惧，DD：情報不足
- ④ 「長野県版レッドリスト～長野県の絶滅のおそれのある野生動植物～動物編 2015」（平成27年．長野県）
CR：絶滅危惧ⅠA類，EN：絶滅危惧ⅠB類，VU：絶滅危惧Ⅱ類，NT：準絶滅危惧，DD：情報不足
N：留意種
- ⑤ 「長野県希少野生動植物保護条例」（平成15年．長野県条例第32号）
特指：特別指定希少野生動植物，指：指定希少野生動植物

(3) 爬虫類・両生類の状況

a. 自然環境保全基礎調査による爬虫類・両生類の状況

「日本の動物分布図集 動物分類群別分布図 両生類・爬虫類」（平成22年．環境省）によると、対象事業実施区域周辺にはヒダサンショウウオ、ハコネサンショウウオ、イモリ、アズマヒキガエル、タゴガエル、ナガレタゴガエル、トノサマガエル、トウキョウダルマガエル、ツチガエル、シユレーゲルアオガエル、カジカガエルといった両生類、シロマダラといった爬虫類が分布している。平地に生息する種のほか、山地の水域に特徴的な種が分布している。

b. 注目すべき爬虫類・両生類の状況

「長野県版レッドリスト～長野県の絶滅のおそれのある野生動植物～動物編 2015」（平成27年．長野県）に記載されている種のうち、対象事業実施区域周辺に分布する両生類を表 3.1.5-8 に示す。止水域に生息する6種が分布している。なお、爬虫類については確実な分布の記載はなかった。

表 3.1.5-8 注目すべき両生類

No.	目名	科名	和名	学名	法令・文献による指定状況				
					①	②	③	④	⑤
1	有尾	サンショウウオ	クロサンショウウオ	<i>Hynobius nigrescens</i>			NT	NT	
2		イモリ	アカハライモリ	<i>Cynops pyrrhogaster</i>			NT	NT	
3	無尾	アカガエル	ツチガエル	<i>Glandirana rugosa</i>				VU	
4			トウキョウダルマガエル	<i>Pelophylax porosus porosus</i>			NT	VU	
5			トノサマガエル	<i>Pelophylax nigromaculatus</i>			NT	NT	
6		アオガエル	モリアオガエル	<i>Rhacophorus arboreus</i>				NT	

注1：種名及び配列は、「日本産爬虫両生類標準和名 2015年5月28日改訂案」（日本爬虫両棲類学会ホームページ）に従った。

注2：法令・文献による指定状況の略号は以下のとおりである。

- ① 「文化財保護法」（昭和25年．法律第214号）
「文化財保護条例」（昭和50年．長野県条例第44号）
「松本市文化財保護条例」（昭和51年．松本市条例第41号）
「山形村文化財保護条例」（昭和40年．山形村条例第12号）
「朝日村文化財の保護に関する条例」（昭和40年．朝日村条例第9号）
- ② 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成4年．法律第75号）
- ③ 「レッドデータブック 2014－日本の絶滅のおそれのある野生生物－3 爬虫類・両生類（平成26年．環境省）
NT：準絶滅危惧
- ④ 「長野県版レッドリスト～長野県の絶滅のおそれのある野生動植物～動物編 2015」（平成27年．長野県）
VU：絶滅危惧Ⅱ類，NT：準絶滅危惧
- ⑤ 「長野県希少野生動植物保護条例」（平成15年．長野県条例第32号）

(4) 淡水魚類の状況

a. 自然環境保全基礎調査による淡水魚類の状況

「日本の動物分布図集 動物分類群別分布図 淡水魚類」(平成 22 年. 環境省)によると, 対象事業実施区域周辺にはスナヤツメ, ウナギ, ウグイ, アブラハヤ類, アブラハヤ, オイカワ, カマツカ, タモロコ, モツゴ, コイ, フナ類, ギンブナ, ナガブナ, ゲンゴロウブナ, ドジョウ, シマドジョウ, ホトケドジョウ, ワカサギ, アユ, カワマス, イワナ類, ニッコウイワナ, ヤマトイワナ, ヤマメ, サクラマス, アマゴ, サツキマス, ニジマス, ブラウントラウト, メナダ, カダヤシ, メダカ, カジカ(生態型不明), カジカ類, 陸封型カジカ, オオクチバス, ブルーギル, ヨシノボリ類, シマヨシノボリが分布している。

b. 注目すべき淡水魚類の状況

「長野県版レッドリスト～長野県の絶滅のおそれのある野生動植物～動物編 2015」(平成 27 年. 長野県)に記載されている種のうち, 対象事業実施区域周辺に分布する淡水魚類を表 3.1.5-9 に示す。水田等に生息するホトケドジョウや山地の溪流に生息するカジカ等, 6 種が分布している。

表 3.1.5-9 注目すべき淡水魚類

No.	目名	科名	和名	学名	法令・文献による指定状況				
					①	②	③	④	⑤
1	コイ	ドジョウ	ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>			DD	DD	
2			ホトケドジョウ	<i>Lefua echigonia</i>			EN	VU	
3	サケ	サケ	ニッコウイワナ	<i>Salvelinus leucomaenis pluvius</i>			DD	NT	
4			サクラマス(ヤマメ)	<i>Oncorhynchus masou masou</i>			NT	NT	
5			サツキマス(アマゴ)	<i>Oncorhynchus masou ishikawae</i>			NT	NT	
6	カサゴ	カジカ	カジカ	<i>Cottus pollux</i>			NT	NT	

注 1: 種名及び配列は, 「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成 27 年度生物リスト」(河川環境データベースホームページ)に従った。

注 2: 法令・文献による指定状況の略号は以下のとおりである。

- ① 「文化財保護法」(昭和 25 年. 法律第 214 号)
「文化財保護条例」(昭和 50 年. 長野県条例第 44 号)
「松本市文化財保護条例」(昭和 51 年. 松本市条例第 41 号)
「山形村文化財保護条例」(昭和 40 年. 山形村条例第 12 号)
「朝日村文化財の保護に関する条例」(昭和 40 年. 朝日村条例第 9 号)
- ② 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成 4 年. 法律第 75 号)
- ③ 「レッドデータブック 2014—日本の絶滅のおそれのある野生生物—4 汽水・淡水魚類(平成 27 年. 環境省)
EN: 絶滅危惧 IB 類, NT: 準絶滅危惧, DD: 情報不足
- ④ 「長野県版レッドリスト～長野県の絶滅のおそれのある野生動植物～動物編 2015」(平成 27 年. 長野県)
VU: 絶滅危惧 II 類, NT: 準絶滅危惧, DD: 情報不足
- ⑤ 「長野県希少野生動植物保護条例」(平成 15 年. 長野県条例第 32 号)

(5) 昆虫類の状況

a. 自然環境保全基礎調査による昆虫類の状況

「日本の動物分布図集 動物分類群別分布図 昆虫(トンボ, セミ・水生半翅, 甲虫, チョウ, ガ類)」(平成 22 年. 環境省)による対象事業実施区域周辺の昆虫類の状況を, 表 3.1.5-10(1)~(2)に示す。トンボ類 44 種, セミ・水生半翅類 10 種, 甲虫類 88 種, チョウ類 112 種, ガ類 28 種が分布している。特にチョウ類の種数が多く, コヒオドシ等の高山性のチョウやゴマシジミ等の草原性のチョウ等, 多様な環境に生息する種が分布している。

表 3.1.5-10(1) 自然環境保全基礎調査による昆虫類

分類	科名	和名
トンボ類	イトトンボ	ホソミイトトンボ, キイトトンボ, クロイトトンボ, オオイトトンボ, エゾイトトンボ, ルリイトトンボ
	モノサシトンボ	モノサシトンボ
	アオイトトンボ	オツネイトトンボ, ホソミオツネイトトンボ, アオイトトンボ, オオアオイトトンボ
	カワトンボ	ニシカワトンボ, ハグロトンボ, アオハダトンボ
	ムカシトンボ	ムカシトンボ
	サナエトンボ	ヤマサナエ, ダビドサナエ, クロサナエ, ウチワヤンマ
	ヤンマ	ミルンヤンマ, ルリボシヤンマ, オオルリボシヤンマ, ギンヤンマ
	オニヤンマ	オニヤンマ
	エゾトンボ	カラカネトンボ, ホソミモリトンボ, エゾトンボ, タカネトンボ
	トンボ	シオカラトンボ, シオヤトンボ, オオシオカラトンボ, ヨツボシトンボ, ハッチョウトンボ, ミヤマアカネ, ムツアカネ, アキアカネ, ヒメアカネ, マユタテアカネ, リスアカネ, ノシメトンボ, コノシメトンボ, ネキトンボ, ウスバキトンボ, カオジロトンボ
セミ・水生半翅類	セミ	ニイニイゼミ, コエゾゼミ, エゾゼミ, エゾハルゼミ, チツチゼミ
	アメンボ	ヤスマツアメンボ, アメンボ
	コオイムシ	コオイムシ
	タイコウチ	ミズカマキリ
	マツモムシ	マツモムシ
甲虫類	ハンミョウ	ニワハンミョウ, コニワハンミョウ, ミヤマハンミョウ, ハンミョウ
	クワガタムシ	ツヤハダクワガタ, ミヤマクワガタ, ルリクワガタ, コルリクワガタ, ヒメオオクワガタ, アカアシクワガタ, スジクワガタ
	ゲンゴロウ	コクロマメゲンゴロウ, マメゲンゴロウ
	カミキリムシ	テツイロハナカミキリ, ハイイロハナカミキリ, エゾハイイロハナカミキリ, ニセハイイロハナカミキリ, フタコブルリハナカミキリ, モモグロハナカミキリ, アラメハナカミキリ, キベリカタビロハナカミキリ, クモマハナカミキリ, カラカネハナカミキリ, オトメクビアカハナカミキリ, ニセハムシハナカミキリ, キバネニセハムシハナカミキリ, アカイロニセハムシハナカミキリ, チャイロヒメハナカミキリ, フタオビチビハナカミキリ, ニセフタオビチビハナカミキリ, オヤマヒメハナカミキリ, セスジヒメハナカミキリ, ミワヒメハナカミキリ, ニセヨコモンヒメハナカミキリ, ムネアカヨコモンヒメハナカミキリ, ヨコモンヒメハナカミキリ, ヤマトヒメハナカミキリ, シラネヒメハナカミキリ, ホソガタヒメハナカミキリ, マツシタヒメハナカミキリ, ニッコウヒメハナカミキリ, カクムネヒメハナカミキリ, アサマヒメハナカミキリ, ブービエヒメハナカミキリ, ツマグロヒメハナカミキリ, ミヤマヒメハナカミキリ, ウスイロヒメハナカミキリ, フトエリマキヒメハナカミキリ, ナガバヒメハナカミキリ, オオヒメハナカミキリ, キベリクロヒメハナカミキリ, シナノヒメハナカミキリ, フイリヒメハナカミキリ, チビハナカミキリ, ホクチチビハナカミキリ, ヒゲブトハナカミキリ, スミイロハナカミキリ, ムナミゾハナカミキリ, ヤマトキモンハナカミキリ, マルガタハナカミキリ, ヌバタマハナカミキリ, チャボハナカミキリ, ミヤマクロハナカミキリ, クロルリハナカミキリ, ルリハナカミキリ, ヒメアカハナカミキリ, ツヤケシハナカミキリ, アカハナカミキリ, プチヒゲハナカミキリ, イガブチヒゲハナカミキリ, クロハナカミキリ, ムネアカクロハナカミキリ, キモンハナカミキリ, ヤツボシハナカミキリ, ツマグロハナカミキリ, ヨツスジハナカミキリ, コヨツスジハナカミキリ, ハネビロハナカミキリ, フタスジハナカミキリ, カタキハナカミキリ, オオヨツスジハナカミキリ, オオクロハナカミキリ, ヒゲジロハナカミキリ, アオバホソハナカミキリ, ニョウホウホソハナカミキリ, タテジマホソハナカミキリ, ニンフホソハナカミキリ, ミヤマホソハナカミキリ

表 3.1.5-10(2) 自然環境保全基礎調査による昆虫類

分類	科名	和名
チョウ類	セセリチョウ	チャマダラセセリ, ミヤマセセリ, ダイミョウセセリ, アオバセセリ, キバネセセリ, ギンイチモンジセセリ, ホシチャバネセセリ, スジグロチャバネセセリ, ヘリグロチャバネセセリ, コキマダラセセリ, ヒメキマダラセセリ, アカセセリ, キマダラセセリ, コチャバネセセリ, オオチャバネセセリ, チャバネセセリ, イチモンジセセリ
	アゲハチョウ	ウスバシロチョウ, ジャコウアゲハ, キアゲハ, ナミアゲハ, オナガアゲハ, クロアゲハ, カラスアゲハ, ミヤマカラスアゲハ
	シロチョウ	キチョウ, ヤマキチョウ, スジボソヤマキチョウ, モンキチョウ, ツマキチョウ, モンシロチョウ, スジグロシロチョウ, エゾスジグロシロチョウ
	シジミチョウ	ウラゴマダラシジミ, ウラキンシジミ, ムモンアカシジミ, アカシジミ, オナガシジミ, ミズイロオナガシジミ, ウスイロオナガシジミ, ミドリシジミ, メスアカミドリシジミ, アイノミドリシジミ, ヒサマツミドリシジミ, オオミドリシジミ, エゾミドリシジミ, ジョウザンミドリシジミ, トラフシジミ, カラスシジミ, ミヤマカラスシジミ, コツバメ, キマダラルリツバメ, ベニシジミ, ゴイシシジミ, ウラナミシジミ, ヤマトシジミ, ゴマシジミ, オオゴマシジミ, ルリシジミ, ツバメシジミ, ヒメシジミ, ミヤマシジミ, ウラギンシジミ
	テングチョウ	テングチョウ
	マダラチョウ	アサギマダラ
	タテハチョウ	ヒョウモンチョウ, コヒョウモン, ウラギンスジヒョウモン, オオウラギンスジヒョウモン, ミドリヒョウモン, クモガタヒョウモン, メスグロヒョウモン, ウラギンヒョウモン, ギンボシヒョウモン, ツماغロヒョウモン, オオイチモンジ, イチモンジチョウ, アサマイチモンジ, コミスジ, ミスジチョウ, オオミスジ, フタスジチョウ, ホシミスジ, コヒョウモンモドキ, サカハチチョウ, キタテハ, シータテハ, ルリタテハ, キベリタテハ, エルタテハ, ヒオドシチョウ, クジャクチョウ, コヒオドシ, ヒメアカタテハ, アカタテハ, スミナガシ, コムラサキ, オオムラサキ
	ジャノメチョウ	ヒメウラナミジャノメ, ジャノメチョウ, ツマジロウラジャノメ, ウラジャノメ, ヒメキマダラヒカゲ, クロヒカゲ, クロヒカゲモドキ, ヒカゲチョウ, オオヒカゲ, キマダラモドキ, ヤマキマダラヒカゲ, サトキマダラヒカゲ, ヒメジャノメ, コジャノメ
ガ類	ヤママユガ	ヤママユ, クスサン, ヒメヤママユ, クロウスタビガ, オオミズアオ
	スズメガ	エビガラスズメ, シモフリスズメ, ヒサゴスズメ, コウチスズメ, クルマスズメ
	シャチホコガ	オオモクメシャチホコ, バイバラシロシャチホコ, アオバシャチホコ, アオセダカシャチホコ, ウチキシヤチホコ, ヒナシャチホコ
	ヤガ	オオシロシタバ, ムラサキシタバ, エゾベニシタバ, ベニシタバ, オニベニシタバ, シロシタバ, ワモンキシタバ, ハイモンキシタバ, ノコメキシタバ, マメキシタバ, エゾシロシタバ, ゴマシオキシタバ

b. 注目すべき昆虫類の状況

「長野県版レッドリスト～長野県の絶滅のおそれのある野生動植物～動物編 2015」（平成 27 年、長野県）に記載されている種のうち、対象事業実施区域周辺に分布する昆虫類を表 3.1.5-11(1)～(4)に示す。151 種が分布しており、最も多いのはコウチュウ目で、中でもカミキリムシ類の種数が多い。また、チョウ目の種数も多く、多様な環境に生息する種が分布している。

表 3.1.5-11(1) 注目すべき昆虫類

No.	目名	科名	和名	学名	法令・文献による指定状況				
					①	②	③	④	⑤
1	トンボ	イトトンボ	ホソミイトトンボ	<i>Aciagrion migratum</i>				VU	
2		エゾトンボ	ホソモリトンボ	<i>Somatochlora arctica</i>				NT	
3	カワゲラ	ヒロムネカワゲラ	ノギカワゲラ	<i>Cryptoperla japonica</i>				NT	
4			ミヤマノギカワゲラ	<i>Yoraperla uenoi</i>				NT	
7	カメムシ	グンバイウンカ	ヒシウンカモドキ	<i>Cixiopsis punctata</i>				DD	
8		カスミカメムシ	タカネアオカスミカメ	<i>Mermitelocerus viridis</i>				VU	
9		ツノカメムシ	キオビツノカメムシ	<i>Cyphostethus japonicus</i>				CR+EN	
10		タイコウチ	タイコウチ	<i>Laccotrephes japonensis</i>				NT	
5	アザミウマ	アザミウマ	ハネナシアザミウマ	<i>Apterotherrips secticornis</i>				DD	
6			ミヤマユリアザミウマ	<i>Ctenothrips nonnae</i>				DD	
11	アミメカゲロウ	ウスバカゲロウ	オオウスバカゲロウ	<i>Heoclisis japonica</i>				DD	
12	シリアゲムシ	シリアゲムシ	スカシシリアゲモドキ(短翅型)	<i>Panorpodes paradoxus</i>				VU	
13	トビケラ	ナガレトビケラ	オオナガレトビケラ	<i>Himalopsyche japonica</i>			NT	NT	
14		エグリトビケラ	クロモンエグリトビケラ	<i>Hydatophylax nigrovittatus</i>				DD	
15	チョウ	マダラガ	ルリハダホソクロバ	<i>Rhagades pruni esmeralda</i>			NT	DD	
16		セセリチョウ	ホシチャバネセセリ	<i>Aeromachus inachus inachus</i>			EN	EN	
17			タカネキマダラセセリ北アルプス亜種	<i>Carterocephalus palaemon satakei</i>	県天		NT	NT	指

表 3.1.5-11(2) 注目すべき昆虫類

No.	目名	科名	和名	学名	法令・文献による指定状況						
					①	②	③	④	⑤		
18	チョウ	セセリチョウ	アカセセリ	<i>Hesperia florinda florinda</i>			EN	NT			
19			ギンイチモンジセセリ	<i>Leptalina unicolor</i>				NT	NT		
20			チャマダラセセリ	<i>Pyrgus maculatus maculatus</i>				EN	CR		
21			スジグロチャバネセセリ北海道・本州・九州亜種	<i>Thymelicus leoninus leoninus</i>					NT	NT	
22			ヘリグロチャバネセセリ	<i>Thymelicus sylvaticus sylvaticus</i>						NT	
23		シジミチョウ	ウラナミアカシジミ	<i>Japonica saepestriata saepestriata</i>					NT		
24			オオゴマシジミ	<i>Phengaris arionides takamukui</i>				NT	NT		
25			ゴマシジミ本州中部亜種	<i>Phengaris teleius kazamoto</i>	市天	国内		CR	EN	予定	
26			ヒメシジミ本州・九州亜種	<i>Plebejus argus micrargus</i>					NT	N	
27			ミヤマシジミ	<i>Plebejus argyrognomon praeterinsularis</i>					EN	VU	
28			アサマシジミ中部低地帯亜種	<i>Plebejus subsolanus yaginus</i>					EN	VU	
29			アサマシジミ中部高地帯亜種	<i>Plebejus subsolanus yarigadakeanus</i>					VU	VU	
30			オオルリシジミ本州亜種	<i>Shijimiaeooides divinus barine</i>					CR	EN	指
31			ムモンアカシジミ	<i>Shirozua jonasi</i>						NT	
32			タテハチョウ	コヒオドシ	<i>Aglais urticae connexa</i>	県天				NT	
33		ウラギンスジヒョウモン		<i>Argyronome laodice japonica</i>				VU	NT		
34		ヒョウモンチョウ本州中部亜種		<i>Brenthis daphne rabdia</i>					VU	NT	
35		オオウラギンヒョウモン		<i>Fabriciana nerippe</i>					CR	CR	
36		オオイチモンジ		<i>Limenitis populi jezoensis</i>	県天				VU	NT	指
37		コヒョウモンモドキ		<i>Melitaea ambigua nippona</i>					EN	VU	
38		アゲハチョウ	ヒメギフチョウ本州亜種	<i>Luehdorfia puziloi inexpecta</i>	村天			NT	NT		
39		シロチョウ	クモマツマキチョウ北アルプス・戸隠亜種	<i>Anthocharis cardamines isschikii</i>	県天			NT	NT		
40			ミヤマシロチョウ	<i>Aporia hippia japonica</i>	県天			VU	EN	特指	
41			ミヤマモンキチョウ北アルプス亜種	<i>Colias palaeno sugitani</i>	県天				NT	NT	
42			ヤマキチョウ	<i>Gonepteryx rhamni maxima</i>					EN	EN	
43			ヒメシロチョウ北海道・本州亜種	<i>Leptidea amurensis vivilia</i>					EN	VU	
44		ジャノメチョウ	ヒメヒカゲ本州中部亜種	<i>Coenonympha oedippus annulifer</i>				VU	EN		
45			キマダラモドキ	<i>Kirinia fentoni</i>					NT	NT	
46			オオヒカゲ	<i>Ninguta schrenckii schrenckii</i>						NT	
47			タカネヒカゲ北アルプス亜種	<i>Oeneis norna asamana</i>	県天				NT	NT	
48		カギバガ	チョウセントガリバ	<i>Tethea ocularis tanakai</i>					DD		
49	シャクガ	トビスジャエナミシャク	<i>Philereme transversata japanaria</i>					DD			
50	スズメガ	メンガタスズメ	<i>Acherontia styx</i>					DD			
51	シャチホコガ	クワヤマエグリシャチホコ	<i>Ptilodon kuwayamae</i>				NT	NT			
52	ヒトリガ	ヒメキシタヒトリ	<i>Parasemia plantaginis</i>					DD			
53	カノコガ	キハダカノコ	<i>Amata germana</i>					NT			
54	ヤガ	ウスジロケンモン	<i>Acronicta lutea</i>					NT	VU		
55		ハイマダラクチバ	<i>Autophila inconspicua</i>						CR+EN		
56		ムラサキハガタヨトウ	<i>Blepharita amica ussuriensis</i>						DD		
57		コシロシタバ	<i>Catocala actaea</i>					NT	DD		
58		ナマリキシタバ	<i>Catocala columbina</i>						DD		
59		クマソオオヨトウ	<i>Kumasia kumaso</i>						DD		
60		シロスジキリガ	<i>Lithomoia solidaginis</i>						NT		
61		ハエ	アミカ	カニギンモンアミカ	<i>Neohapalothrix kanii</i>					CR+EN	
62	シマシマヒメアミカ			<i>Philorus simasimensis</i>						DD	
63		アミカモドキ	ニホンアミカモドキ	<i>Deuterophlebia nipponica</i>				VU	VU		
64	コウチュウ	オサムシ	ツヤキベリアオゴムシ	<i>Chlaenius spoliatus motschulskyi</i>				VU	DD		
65			シンシュウナガゴムシ	<i>Pterostichus cristatoides</i>						NT	
66			ニセシンシュウナガゴムシ	<i>Pterostichus himifuriho</i>						NT	
67			シラホネオオズナガゴムシ	<i>Pterostichus shikatai</i>						VU	
68			タカネツヤゴモクムシ	<i>Trichotichnus alpinus</i>						NT	
69			カミコウチツヤゴモクムシ	<i>Trichotichnus silvestris</i>						NT	
70			ハンミョウ	アイスハンミョウ	<i>Cicindela gemmata aino</i>					NT	NT
71		ゲンゴロウ	ゲンゴロウ	<i>Cybister chinensis</i>					VU	NT	
72		ミズスマシ	ミズスマシ	<i>Gyrinus japonicus</i>					VU	VU	
73		ガムシ	ガムシ	<i>Hydrophilus acuminatus</i>					NT	NT	
74			シジミガムシ	<i>Laccobius bedeli</i>					EN	DD	
75	エンマムシモドキ	エンマムシモドキ	<i>Syntelia histeroides</i>						NT		

表 3.1.5-11(3) 注目すべき昆虫類

No.	目名	科名	和名	学名	法令・文献による指定状況				
					①	②	③	④	⑤
76	コウチュウ	シデムシ	ツノグロモンシデムシ	<i>Nicrophorus vespilloides</i>				NT	
77			カバイロヒラタシデムシ	<i>Oiceoptoma subrufum</i>				NT	
78			ピロウドヒラタシデムシ	<i>Oiceoptoma thoracicum</i>				NT	
79		クワガタムシ	ツヤハダクワガタ中部亜種	<i>Ceruchus lignarius monticola</i>				NT	
80			ヒメオオクワガタ	<i>Dorcus montivagus montivagus</i>				NT	
81			コルリクワガタ東海亜種	<i>Platycerus acuticollis takakuwai</i>				NT	
82			ルリクワガタ	<i>Platycerus delicatulus delicatulus</i>				NT	
83		コガネムシ	オオフタホシマダコガネ	<i>Aphodius elegans elegans</i>				DD	
84			オオクワガタマダコガネ	<i>Aphodius japonicus</i>				VU	
85			クロモンマダコガネ	<i>Aphodius variabilis</i>				NT	CR+EN
86	マルエンマコガネ		<i>Onthophagus viduus</i>				VU		
87	オオチャイロハナムグリ		<i>Osmoderma opicum</i>				NT	VU	
88	トラハナムグリ		<i>Trichius japonicus</i>				VU		
89	タマムシ	クロコモンタマムシ東日本亜種	<i>Poecilota variolosa chinensis</i>				VU		
90		アオタマムシ	<i>Eurythrea tenuistriata</i>				VU		
91	コメツキムシ	アズサチビコメツキ	<i>Adzusa inexpecta</i>				VU		
92		ミヤマタテスジコメツキ	<i>Ampedus gracilipes</i>				NT		
93		ミヤマホソチャバネコメツキ	<i>Ampedus tokugoensis</i>				NT		
94		ダンドラコメツキ	<i>Diacanthous undosus</i>				NT		
95		ミヤタケヒメツキヤヒラタコメツキ	<i>Hypoganus miyatakei</i>				NT		
96		フタキボシカネコメツキ	<i>Limonicus kraatzii nihonicus</i>				NT		
97		クロホソキコメツキ	<i>Procraterus cariniceps</i>				NT		
98		ジョウカイボン	シロクビボソジョウカイ	<i>Asiopotabrus albus</i>				VU	
99	アズサクビボソジョウカイ		<i>Asiopotabrus azusa</i>				VU		
100	ヒワダクビボソジョウカイ		<i>Asiopotabrus hiwadanus</i>				NT		
101	マサタカシリブトジョウカイ		<i>Yukikoa masatakai</i>				NT		
102	ホタル	ゲンジボタル	<i>Luciola cruciata</i>				NT		
103		ヒメボタル	<i>Luciola parvula</i>				NT		
104	カッコウムシ	クロツヤホソカッコウムシ	<i>Tillus arsenjevi</i>				VU		
105	コクヌスト	オオヒラタコクヌスト	<i>Peltis gigantea</i>				VU		
106	テントウムシ	ダイモンテントウ	<i>Coccinella hasegawai</i>				NT		
107		ヤマトアザミテントウ	<i>Henosepilachna niponica</i>				NT		
108		ルイヨウマダラテントウ	<i>Henosepilachna yasutomii</i>				NT		
109		ハナバチヤドリキスイ	<i>Antherophagus nigricornis</i>				NT		
110	オオキノコムシ	オオキノコムシ	<i>Encaustes praenobilis</i>				NT		
111	クビナガムシ	カクズクビナガムシ	<i>Nematoplus konoi</i>				NT		
112	ナガクチキムシ	ヒロホソナガクチキ	<i>Dapsiloderus nomurai</i>				NT		
113		ヤサガタナガクチキ	<i>Melandrya parallela</i>				VU		
114		ムネアカナガクチキ	<i>Phryganophilus ruficollis rosti</i>				NT		
115		ミスジナガクチキ	<i>Stenoxylita trialbofasciata</i>				VU		
116		オオツツホソナガクチキ	<i>Xylita laevigata</i>				NT		
117	アカハネムシ	ツチイロビロウドムシ	<i>Dendroides lesnei</i>				NT		
118		キスジヘリハネムシ	<i>Ischalia luteolineata</i>				NT		
119		タカネヘリハネムシ	<i>Ischalia takane</i>				NT		
120	アトゴゴムシシダマシ	ミヤマヨコモゾゴゴムシシダマシ	<i>Usechus sasajii</i>				NT		
121	カミキリムシ	ムモンベニカミキリ	<i>Amarysius sanguinipennis</i>				VU		
122		フタスジカタビロハナカミキリ	<i>Brachyta bifasciata japonica</i>				NT		
123		トホシハナカミキリ	<i>Brachyta punctata</i>				NT		
124		オトメクビアカハナカミキリ	<i>Gaurotes otome</i>				VU		
125		クロツヤヒゲナガコバネカミキリ	<i>Glaphyra hattorii</i>				NT		
126		マダラゴマフカミキリ	<i>Mesosa poecila</i>				NT		
127		オニホソコバネカミキリ	<i>Necydalis gigantea gigantea</i>				NT		
128		カラフトホソコバネカミキリ	<i>Necydalis sachalinensis</i>				VU		
129		シナノスミイロハナカミキリ	<i>Nivellia extensa yuzawai</i>					CR+EN	
130		エゾトゲムネカミキリ	<i>Oplisia suvorovi</i>				NT		
131		ヒゲブトハナカミキリ	<i>Pachypidonia bodemeyeri</i>				VU		
132		キベリカタビロハナカミキリ	<i>Pachyta erebia erebia</i>				NT		
133		ベニバハナカミキリ	<i>Paranaspia anaspoides</i>				NT		

表 3.1.5-11(4) 注目すべき昆虫類

No.	目名	科名	和名	学名	法令・文献による指定状況					
					①	②	③	④	⑤	
134	コウチュウ	カミキリムシ	タカネヒメハナカミキリ	<i>Pidonia tsukamotoi</i>				VU		
135			コトラカミキリ	<i>Plagionotus pulcher</i>			NT	NT		
136			チャイロヒメコブハナカミキリ	<i>Pseudosieversia japonica</i>				NT		
137			シナノエゾハイイロハナカミキリ	<i>Rhagium heyrovskyi hayakawai</i>				CR+EN		
138			アラメハナカミキリ	<i>Sachalinobia koltzei</i>				NT		
139			トホシカミキリ	<i>Saperda alberti</i>				VU		
140			ヤツボシカミキリ	<i>Saperda octomaculata</i>				VU		
141			タケウチホソハナカミキリ	<i>Strangalia takeuchii</i>				CR+EN		
142			ハセガワトラカミキリ	<i>Teratoclytus plavilstshikovi</i>				VU		
143			オオトラカミキリ	<i>Xylotrechus villioni</i>				VU		
144			キジマトラカミキリ	<i>Xylotrechus zebratus</i>				NT		
145			ハムシ	ハムシ	キイロカメノコハムシ	<i>Cassida concha</i>				DD
146					アオグロモモブトハムシ	<i>Zeugophora hozumii</i>				VU
147			オトシブミ	オトシブミ	サメハダハマキチョッキリ	<i>Byctiscus rugosus</i>				DD
148	ゾウムシ	ゾウムシ	フタバアナアキゾウムシ	<i>Hylobius futabae</i>				VU		
149	ハチ	スズメバチ	キオビホオナガスズメバチ本州亜種	<i>Dolichovespula media sugare</i>			DD	DD		
150			モンズズメバチ	<i>Vespa crabro</i>			DD	DD		
151			キオビクロスズメバチ	<i>Vespula vulgaris</i>				DD		

注1：種名及び配列は、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成17年度生物リスト及び平成27年度生物リスト」(河川環境データベースホームページ)に従い、記載のない種については、「長野県版レッドリスト～長野県の絶滅のおそれのある野生動植物～動物編2015」(平成27年・長野県)に従った。

注2：法令・文献による指定状況の略号は以下のとおりである。

- ① 「文化財保護法」(昭和25年・法律第214号)
「文化財保護条例」(昭和50年・長野県条例第44号)
県天：県指定天然記念物
「松本市文化財保護条例」(昭和51年・松本市条例第41号)
市天：市指定天然記念物
「山形村文化財保護条例」(昭和40年・山形村条例第12号)
「朝日村文化財の保護に関する条例」(昭和40年・朝日村条例第9号)
村天：村指定天然記念物
- ② 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年・法律第75号)
国内：国内希少野生動植物種
- ③ 「レッドデータブック2014ー日本の絶滅のおそれのある野生生物ー5昆虫類(平成27年・環境省)
CR：絶滅危惧IA類, EN：絶滅危惧IB類, VU：絶滅危惧II類, NT：準絶滅危惧, DD：情報不足
- ④ 「長野県版レッドリスト～長野県の絶滅のおそれのある野生動植物～動物編2015」(平成27年・長野県)
CR+EN：絶滅危惧I類, CR：絶滅危惧IA類, EN：絶滅危惧IB類, VU：絶滅危惧II類
NT：準絶滅危惧, DD：情報不足, N：留意種
- ⑤ 「長野県希少野生動植物保護条例」(平成15年・長野県条例第32号)
特指：特別指定希少野生動植物, 指：指定希少野生動植物
予定：長野県希少野生動植物保護条例の指定種として予定されている種

(6) 貝類の状況

a. 自然環境保全基礎調査による貝類の状況

「日本の動物分布図集 動物分類群別分布図 陸産及び淡水産貝類」(平成 22 年. 環境省)によると, 対象事業実施区域周辺にはヤマキサゴ, ミジンヤマタニシ, ピルスブリムシオイ, ゴマガイ, ヒダゴマガイ, イブキゴマガイ, ウゼンゴマガイ, ヒダリマキゴマガイ, マルタニシ, オオタニシ, ヒメタニシ, タテヒダカワニナ, カワニナ, ニホンケシガイ, スジケシガイ, ケシガイ, サカマキガイ, ヒメモノアラガイ, イグチモノアラガイ, モノアラガイ, ヒラマキミズマイマイ, キセルガイモドキ, ハゲギセル, キイツムガタギセル, ツムガタモドキギセル, ナミギセル, オカチョウジガイ, ホソオカチョウジガイ, ナタネガイ, ミジンナタネ, パツラマイマイ, ヒメコハクガイ, コハクガイ, ヤマナメクジ, カントウベッコウ, ヒメベッコウガイ, キビガイ, ヤクシマヒメベッコウ, エナクリイロベッコウ, ハリマキビ, ヒメハリマキビ, スジキビ, マルシタラガイ, カサキビ, オオタキキビ, タカキビ, ヒメカサキビ, ウラジロベッコウ, オオクラヒメベッコウ, ナミヒメベッコウ, ケハダビロウドマイマイ, トウカイビロウドマイマイ, ヒメビロウドマイマイ, コシタカコベソマイマイ, ニッポンマイマイ, ヤマタカマイマイ, オキナワウスカワマイマイ, ウスカワマイマイ, オオケマイマイ, オナジマイマイ, ミスジマイマイ, ヒダリマキマイマイ, クロイワマイマイ, カタマメマイマイ, マメマイマイ, エンドウマイマイ, ドブシジミが分布している。

b. 注目すべき貝類の状況

「長野県版レッドリスト～長野県の絶滅のおそれのある野生動植物～動物編 2015」(平成 27 年. 長野県)に記載されている種のうち, 対象事業実施区域周辺に分布する貝類を表 3. 1. 5-12 に示す。ヒダゴマガイ等の陸産貝類 6 種, マルタニシ等の淡水産貝類 3 種の合計 9 種が分布している。

表 3. 1. 5-12 注目すべき貝類

No.	目名	科名	和名	学名	選定基準				
					①	②	③	④	⑤
1	ニナ	ゴマガイ	ヒダゴマガイ	<i>Diplommatina hidaensis</i>				VU	
2		タニシ	マルタニシ	<i>Cipangopaludina chinensis laeta</i>			VU	NT	
3			オオタニシ	<i>Cipangopaludina japonica</i>			NT	NT	
4	モノアラガイ	ヒラマキガイ	ヒラマキガイモドキ	<i>Polyylis hemisphaerula</i>			NT	NT	
5	マイマイ	ベッコウマイマイ	トガリキビ	<i>Parakaliella acutanguloides</i>			DD	NT	
6			オオタキキビ	<i>Trochochlamys lioconus lioconus</i>			NT	NT	
7		ニッポンマイマイ	ケハダビロウドマイマイ	<i>Nipponochloritis fragilis</i>			NT	NT	
8			コシタカコベソマイマイ	<i>Satuma fusca</i>			NT	NT	
9		オナジマイマイ	ヤマタカマイマイ	<i>Satuma papilliformis</i>			NT	NT	

注 1: 種名は「長野県版レッドリスト～長野県の絶滅のおそれのある野生動植物～動物編 2015」(平成 27 年. 長野県)に従い, 配列は「日本産野生生物目録-本邦産野生動植物の種の現状-(無脊椎動物編Ⅲ)」に従った。

注 2: 法令・文献による指定状況の略号は以下のとおりである。

- ① 「文化財保護法」(昭和 25 年. 法律第 214 号)
「文化財保護条例」(昭和 50 年. 長野県条例第 44 号)
「松本市文化財保護条例」(昭和 51 年. 松本市条例第 41 号)
「山形村文化財保護条例」(昭和 40 年. 山形村条例第 12 号)
「朝日村文化財の保護に関する条例」(昭和 40 年. 朝日村条例第 9 号)
- ② 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成 4 年. 法律第 75 号)
- ③ 「レッドデータブック 2014-日本の絶滅のおそれのある野生生物-6 貝類(平成 26 年. 環境省)
VU: 絶滅危惧Ⅱ類, NT: 準絶滅危惧, DD: 情報不足
- ④ 「長野県版レッドリスト～長野県の絶滅のおそれのある野生動植物～動物編 2015」(平成 27 年. 長野県)
VU: 絶滅危惧Ⅱ類, NT: 準絶滅危惧
- ⑤ 「長野県希少野生動植物保護条例」(平成 15 年. 長野県条例第 32 号)

3.1.5.3 生態系

(1) 生態系の状況

対象事業実施区域周辺は大部分が森林環境で、カラマツ植林が多くを占め、クリーミズナラ群落やアカマツ群落等が部分的にみられるほか、高標高帯には自然度の高い亜高山帯植生のシラビソオオシラビソ群集等が分布している。また、東側の台地については、耕作地植生の草本群落で占められていることが特徴的である。

これらの対象事業実施区域周辺の植物を生産者として、一次消費者としては、ハムシ類やバッタ類、チョウ類等の草食性昆虫類が存在する。

二次消費者としては、これらを捕食するトンボ類やゴミムシ類、スズメバチ類等の肉食性昆虫類が挙げられ、さらにこれらの小動物を捕食する存在として、モグラ類やコウモリ類等の小型哺乳類、サギ類やカラ類、キツツキ類等の鳥類、トノサマガエル等の両生類が挙げられる。

三次消費者としては、タヌキやアナグマ等の中型哺乳類、シロマダラ等のヘビ類が挙げられ、さらにこれらを捕食する生態系の最上位には、キツネ等の肉食性哺乳類やクマタカ等の猛禽類が位置している。

3.1.5.4 自然環境の総合的な状況

対象事業実施区域周辺は、内陸性気候であり、気温は日較差や年較差が大きいといった特徴がある。また、降水量が少なく日照時間が長いことも特徴である。奈川や上高地は山岳地域であり、松本に比べると気温が低く、降水量が多くなっている。

地形的には多くが大起伏の山地からなり、1,500m以上にも及ぶ標高差を持つ変化に富んだ地形を形成し、北西部に槍ヶ岳、乗鞍岳、穂高連峰などの飛騨山脈(北アルプス)を擁している。代表的な河川としては、奈川、梓川が西から東へ流れ、奈良井川が南から北へ流れている。

植生的には、松本市奈川周辺に末川、鉢盛山の原生林があり、植生自然度が9と非常に高くなっている。その他は二次林や植林地で植生自然度6~7となっている。

また、動物相では、ツキノワグマ、ニホンイノシシ等の大型哺乳類やクマタカ、オオタカ等の猛禽類が生息している。

人の利用環境では、人の活動と自然環境との共有関係が残る里山環境を有する地域と奈川や上高地等の山岳地域がある。